

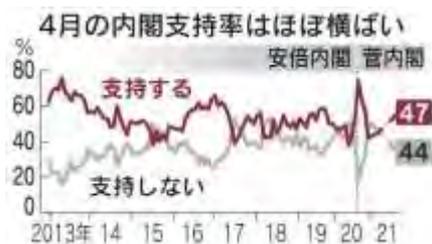
2021年4月27日～23日

世論調査（日経）、衆院北海道2区補選、参院長野選挙区補選、参院広島選挙区再選、安倍前首相発言

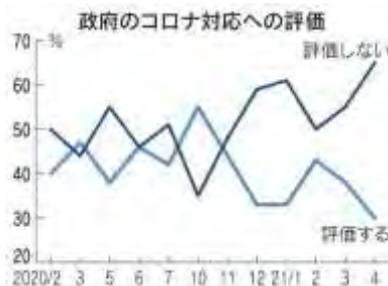
コロナ対策「評価しない」65% 内閣支持率は横ばい 47% 日経世論調査

日経新聞 2021年4月25日 20:00

日本経済新聞社とテレビ東京は23～25日に世論調査を実施した。菅義偉内閣の支持率は47%で3月の45%からほぼ横ばいだ。政府の新型コロナウイルス対策について「評価しない」は過去最高の65%で、3月の前回調査から10ポイント上がった。



コロナ対策への評価は2020年2月から質問している。「評価する」は前回から8ポイント低下の30%でこれまでの調査で最も低かった。1回目の緊急事態宣言を発令中の20年5月は38%、2回目の21年1月は33%だった。



居住地別にみると東京都が25%と全体より低かった。大阪、兵庫、京都の3府県は32%で全国との差は小さかった。

内閣を「支持しない」と答えた人は全体の44%で3月の46%と同水準だった。支持率が不支持の割合を5カ月ぶりに上回ったものの、拮抗する状況は変わらない。

支持する理由のトップは「自民党中心の内閣だから」(33%)だった。菅政権発足後、前回まで首位だった「人柄が信頼できる」は9ポイント低下の31%で2位になった。支持しない理由で一番多い回答は「指導力がない」の47%だった。

今回の宣言で東京など4都府県に休業要請を含む厳しい措置をとる点は「妥当だ」が68%だった。「妥当だとは思わない」の27%よりも高かった。



政党支持率は自民党が47%で前回から4ポイント上昇した。立憲民主党は9%でほぼ横ばい、支持政党がない無党派層は29%で変わらなかった。

調査は日経リサーチが23～25日に全国の18歳以上の男女に携帯電話も含めて乱数番号(RDD)方式による電話で実施し、1026件の回答を得た。回答率は46.1%。

台湾海峡の安定に関与「賛成」74% 日経世論調査

日経新聞 2021年4月26日 1:00 [有料会員限定]

日本経済新聞社の23～25日の世論調査で、菅義偉首相とバイデン米大統領による初の首脳会談について聞いた。「評価する」が50%で「評価しない」の32%を上回った。日本が台湾海峡の安定に関与する点は「賛成」が74%で「反対」は13%だった。



バイデン氏が就任後、対面で外国首脳と会うのは首相が初めてだった。「ジョー」「ヨシ」とお互いをファーストネームで呼び合い、対中政策や気候変動対策などを話し合った。

首脳共同声明で「台湾海峡の平和と安定の重要性を強調」と半世紀ぶりに台湾へ言及した。

トランプ前大統領が就任した2017年、安倍晋三前首相との初会談は「評価する」が58%だった。

今回の会談は与党支持層で66%が「評価する」と答えた。野党支持層は「評価しない」が48%で「評価する」(42%)より多かった。

世代別にみると「評価する」は18～39歳、60歳以上はそれぞれ52%だった。40～50代では47%だった。



台湾海峡への関与を巡っては与党内の評価に差が表れた。自民党支持層は「賛成」が80%だったものの、公明党支持層はおよそ7割にとどまった。野党支持層は77%が「賛成」だった。

世代別でどの年齢層も「賛成」が「反対」を上回った。60歳以上は74%、40～50代は80%、18～39歳は69%が「賛成」と回答した。

中国は台湾の統一を目標に掲げており、軍事的圧力を強めている。台湾海峡で衝突が起きれば、日本は米国から貢献を求められる公算が大きい。中台の衝突に巻き込まれることへの懸念はある。安全保障関連法に基づく「存立危機事態」に認定されれば集団的自衛権の限定的な行使が可能になる。共同声明は「日本は(日米)同盟、地域の安全保障を一層強化するために自らの防衛力を強化することを決意した」とも明記した。

世論調査は首相が表明した30年度までの温暖化ガス削減の新目標についても聞いた。従来の13年度比26%減から46%減への

影響は必至。首相が7月の東京五輪開幕前の衆院解散に踏み切る余地は一段と狭まりそうだ。共闘が奏功した野党は衆院選へ向け、候補者調整を急ぐ。

自民の山口泰明選対委員長は党本部で記者団に「残念だ。有権者の審判を厳粛に受け止め、反省を踏まえやっていきたい」と述べた。立憲の福山哲郎幹事長は「半年間の菅内閣に極めて厳しい審判が下された」と語った。

収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛元農林水産相＝自民党離党＝の議員辞職に伴う北海道2区補選では、立憲元職の松木謙公氏（62）＝共産党道委員会、国民民主、社民両党推薦＝が無所属新人で元民放アナウンサーの鶴羽佳子氏（53）ら5人を破り、5回目の当選を決めた。

新型コロナに感染した立憲の羽田雄一郎元国土交通相の死去を受けた長野補選では、立憲新人で羽田氏の実弟の羽田次郎氏（51）＝共産、国民、社民各党推薦＝が「弔い選挙」を展開。自民新人で元衆院議員の小松裕氏（59）＝公明党推薦＝ら2人を下した。

2019年参院選をめぐる買収事件で有罪が確定した河井案里氏＝自民離党＝の当選無効に伴う広島再選挙は当初、保守地盤が厚い土地柄から与党有利との見方があった。しかし、「政治とカネ」の問題をめぐる与党への有権者の反発は強く、諸派新人でフリーアナウンサーの宮口治子氏（45）＝立憲、国民、社民各党推薦＝が自民新人で元経済産業省課長補佐の西田英範氏（39）＝公明推薦＝ら5人を破った。

「コロナ収束、やり遂げる」 弔い選挙勝利で羽田氏

時事通信 2021年04月25日 23時31分



参院長野選挙区補欠選挙で当選確定となった羽田次郎氏（中央）＝25日午後、長野市

「信州、国民の代弁者として新型コロナウイルス収束を一日も早くやり遂げることをお約束する」。参院長野選挙区補欠選挙で勝利した立憲民主党の羽田次郎氏（51）は25日夜、長野市内のホテルで約100人の支援者を前に力強く語った。

実兄の雄一郎元国土交通相の死去で突然の出馬となった次郎氏。午後8時すぎ、当選確定の一報が入ると、詰め掛けた支援者から大きな拍手が湧き起こった。

雄一郎氏が新型コロナに感染し亡くなったことを考慮して万歳はせず、次郎氏は壇上で同党県連や共産、社民各党の県組織幹部らとグータッチを交わした。「兄の思いを引き継ぐことを訴えて戦ってきたので、勝ち抜くことができひと安心している」と喜びをかみしめた。

公明幹部「信頼回復に全力」 衆参3選挙全敗に

時事通信 2021年04月25日 23時56分

衆院北海道2区、参院長野選挙区の両補選と参院広島再選挙で自民党が全敗したことを受け、公明党の石井啓一幹事長は25日、「大変残念だ。新型コロナウイルス対策など当面の政治課題を着

実に実行し、信頼回復に全力で取り組まなければならない」と述べた。党本部で記者団に語った。

与党が必勝を期した参院広島でも及ばなかったことについて、石井氏は「与党に大きな逆風があるとは思わない。広島特有の事情だったのではないかと述べ、次期衆院選への影響を否定した。

【点描・永田町】 広島再選挙での岸田氏の苦闘

時事通信 2021年04月25日 19時00分



参議院広島選挙区再選挙が告示され、自民党の西田英範候補（右）の出陣式に応援に駆け付けた岸田文雄前政調会長＝8日、広島市中区



菅義偉政権初の国政選挙となる「4・25トリプル選挙」で、政界が注目しているのが参院広島選挙区の再選挙だ。次期衆院選だけでなく、9月に予定される自民党総裁選への出馬を目指す岸田文雄前政調会長の命運が懸かるからだ。昨年9月の菅政権発足で無役となって以来、党内での存在感も薄れ、「ポスト菅」候補の人気番付でも下位に低迷している岸田氏だけに、地元・広島の再選挙で同氏が主導して擁立した自民公認候補が敗れれば、「総理・総裁候補としての資格も失いかねない」（自民長老）という厳しい戦いとなっている。

広島再選挙は、巨額買収による公職選挙法違反で有罪が確定した河井案里前参院議員の当選無効・失職に伴うもの。「鶏卵」汚職事件での吉川貴盛・元農林水産相の議員辞職に伴う衆院北海道2区と、羽田雄一郎・前立憲民主党参院幹事長の死去に伴う参院長野選挙区の両補欠選挙との同時実施となった。ただ、自民党はこのトリプル選挙の北海道補選では、早々に候補擁立を見送る「不戦敗」を選択。さらに、与野党対決の構図となった長野補選も、「故羽田氏の実弟の“弔い選挙”で自民党も諦めムード」（選挙アナリスト）とされる。このため、広島再選挙が「唯一勝てる可能性がある選挙」（自民選対）との見方が大勢だ。

岸田氏は衆院広島1区で当選を重ね、2012年には名門派閥・宏池会（岸田派）の会長となった。広島は故池田勇人元首相以来の「宏池会の天領」（自民長老）とされ、現在も広島選出の自民党衆参議員の半数が岸田派所属だ。それだけに、3月末に3度目の自民党県連会長に就任した岸田氏は、4月8日の再選挙告示の前から地元には張り付き、選挙戦の陣頭指揮に当たっている。◇負ければ総理・総裁候補から脱落も

再選挙に出馬したのは、自民党公認で公明党が推薦する元経済産業省課長補佐の西田英範氏（39）と、立憲民主党など主要野党が推薦・支援する無所属のフリーアナウンサー、宮口治子氏（45）ら6人。2019年7月参院選での巨額買収事件の舞台となった同選挙区だけに、選挙戦は「政治とカネ」が最大の争点とな

り、与野党双方の「統一候補」による事実上の一騎打ちの構図だ。広島は「圧倒的な保守地盤」（自民選対）で、立憲民主も当初は、4年後の改選時での現職競合への懸念から、野党統一候補で戦うことに及び腰だったとされる。しかし、党内から「4年後のことなど考えずに、目の前の選挙で自民打倒を目指すべきだ」（幹部）との声が強まり、主要野党の共闘態勢を構築しての総力戦に持ち込んだ。

定数2の参院広島選挙区は、これまで与野党がそれぞれ1議席を分け合ってきたが、自民候補は野党候補の2倍ほどの得票で圧勝してきた。しかし、今回は元法相の河井克行被告（公判中）と夫人の案里氏による買収事件を受けての再選挙。前回の自民分裂選挙の「後遺症」もあって、「挙党態勢を組めない」（自民選対）のが実態で、「前回に案里氏を応援した首相も広島に入れない」（同）とされる。

このため、選挙戦は岸田派所属議員や秘書を大量動員した「文字通りの宏池会選挙」（同派幹部）となっており、党執行部や他派閥は「お手並み拝見」を決め込む。総裁選出馬を目指す岸田氏は、ここにきて「敵基地攻撃能力の提起」などで、安倍晋三前首相を中心とする党内保守派に擦り寄る動きも見せているが、自民党内では「再選挙で負ければ、岸田氏は総理・総裁候補から脱落する」（関係経験者）との見方も少なくない。主要メディアの情勢調査などで「野党候補がリード」との分析もあり、投票直前まで岸田氏の苦闘が続きそうだ【政治ジャーナリスト・泉 宏／「地方行政」4月19日号より】。

衆参3選挙、自民が全敗 菅政権、初の国政選で痛手

2021/4/26 00:15 (JST)4/26 00:16 (JST)updated 共同通信社



衆院北海道2区補選で落選が決まり、支持者

(左)に頭を下げる鶴羽佳子氏＝25日夜、札幌市

菅政権発足後、初の国政選挙となった衆院北海道2区と参院長野選挙区の補欠選挙、参院広島選挙区再選挙が25日投開票され、自民党は不戦敗を含め全敗を喫した。立憲民主党など野党は4党共闘で臨み3勝。次期衆院選の前哨戦で菅義偉首相（自民総裁）に痛手となった。衆院議員任期満了が10月に迫る中、首相の衆院解散戦略に影響を与えるのは必至。与党内で早期解散への慎重論と、首相の下での衆院選に懸念が出そうだ。

自民は北海道2区で候補を擁立せず、激戦の広島、長野で公明党の推薦を得て戦った。保守地盤の広島を含めた全敗は、「政治とカネ」やコロナ対応を巡る政権批判の根強さを裏付けた。

野党共闘の立民・羽田氏が初当選 参院長野、「甲い合戦」制す

2021/4/26 00:18 (JST)共同通信社



参院長野選挙区補選で当選を決め、花束を掲げる羽田次郎氏＝25日夜、長野市

新型コロナウイルスに感染した立憲民主党の羽田雄一郎元国

土交通相の死去に伴う参院長野選挙区補欠選挙は25日投開票され、羽田氏の弟で立民新人羽田次郎氏（51）＝共産、国民、社民推薦＝が、自民党新人小松裕氏（59）＝公明推薦＝ら2人を破り、初当選した。政策協定を巡り野党共闘は一時乱れたものの「甲い合戦」を制した。自民は「羽田王国」の壁を破ることはできなかった。投票率は44.43%で、1948年の44.87%を下回り過去最低。

羽田、小松両氏による事実上の一騎打ちで、新型コロナ対応が主な争点となった。羽田氏は「コロナの収束を一日も早くやり遂げる」と決意表明した。



羽田次郎氏

野党共闘の松木謙公氏が勝利 衆院北海道2区補選

2021/4/25 23:51 (JST)共同通信社



衆院北海道2区補選で当選を決め、花束を掲げ

る松木謙公氏＝25日夜、札幌市

収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛元農相（自民党離党）の議員辞職に伴う衆院北海道2区補欠選挙は25日投開票され、立憲民主党元職の松木謙公氏（62）＝国民、社民推薦＝が、保守系無所属の元地元民放アナウンサー鶴羽佳子氏（53）ら新人5人を破り、5回目の当選を果たした。共産党も支援する野党共闘候補の松木氏の勝利で、野党側は次期衆院選に向け弾みをつけた形だ。

投票率は30.46%で、2014年衆院選の52.86%を22.40ポイント下回り過去最低となった。

自民は吉川元農相の在宅起訴を受け候補者擁立を見送り、公明党が自主投票としたことで与野党対決の構図が崩れていた。



松木謙公氏

野党統一の宮口治子氏が激戦制す 参院広島再選挙、自民に大逆風

2021/4/26 00:33 (JST) 共同通信社



参院広島選挙区再選挙で当選が決まり、支援者から祝福される宮口治子氏（左）＝25日夜、広島市

河井案里前参院議員（47）の当選無効に伴う参院広島選挙区再選挙は25日投票開票され、政治団体「結集ひろしま」新人の宮口治子氏（45）＝立憲、国民、社民推薦＝が、自民党新人の西田英範氏（39）＝公明推薦＝との激戦を制し、初当選した。投票率は33.61%。過去最低だった1993年の補欠選挙に次ぐ低い投票率だった。

2019年参院選で、河井陣営が起こした多額買収事件が発端となった選挙戦。保守王国の広島で自民に大逆風となる中、宮口氏は当初、唯一の女性候補者として育児や福祉政策を訴えたが、終盤では「政治とカネ」問題を集中的に取り上げ、自民批判票の受け皿となった。



宮口治子氏

菅政権、初の国政3選挙で「全敗」 野党共闘に弾み

朝日新聞デジタル 榎崎貴司 2021年4月25日 23時45分



当選が確実となり、ダルマにVの字を書く松木謙公氏（右端）＝2021年4月25日午後8時18分、札幌市北区、日吉健吾撮影



菅政権にとって初の国政選挙となった参院広島選挙区再選挙と参院長野選挙区補欠選挙、衆院北海道2区補選が25日投票開票され、自民党は与野党対決となった広島と長野でいずれも敗れた。候補者擁立を見送った北海道を含め、「全敗」という結果に終わり、今後の政権運営に大きな打撃となった。一方、「共闘」路線で臨んだ野党側は、今回の勝利を次期衆院選に向けた弾みにしたいと考えた。

広島再選挙は、野党が候補者を一本化した諸派「結集ひろしま」新顔で元キャスターの宮口治子氏（45）＝立憲、国民、社民推薦＝が、自民新顔で元経済産業省官僚の西田英範氏（39）＝公明推薦＝ら5人を破った。公職選挙法違反（買収）の有罪判決が確定した河井案里氏＝自民を離党＝の当選無効に伴うもの。「政治とカネ」の問題が大きな争点となった。

野党は今回の3選挙について、「政権選択選挙につなげたい」（立憲の枝野幸男代表）との意気込みで臨んだ。とりわけ広島再選挙に注力し、河井夫妻の事件については「金権政治」との批判を強めた。

一方、与党は自民党幹部らが企業や団体を回るなどの選挙戦を展開し、公明も複数の幹部が応援に入るなど総力を結集したが、支持層を固め切れず、逆風をはね返せなかった。

長野補選は、野党統一候補として立った立憲新顔の羽田次郎氏（51）＝共産、国民、社民推薦＝が、自民新顔で元衆院議員の小松裕氏（59）＝公明推薦＝ら2人を破った。立憲の参院幹事長だった羽田雄一郎氏が新型コロナに感染して急逝したことに伴うもので、実弟の次郎氏を立てた野党が「甲い選挙」を前面に掲げた。

北海道2区補選は、野党統一候補として立候補した立憲前職の松木謙公氏（62）＝国民、社民、共産道委員会推薦＝が、維新の新顔ら5人を破り、国政に再び咲いた。選挙は収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛元農林水産相＝自民を離党＝の議員辞職に伴うものだった。

3選挙について与党側は「最低1勝」をめざし、野党に長年苦戦してきた長野より、支持基盤の厚い広島での勝利に期待していた。全敗という結果に、与党内には動揺が広がっており、次期衆院選を控え、菅義偉首相の政権運営の求心力が低下する可能性がある。首相の衆院解散戦略にも影響を与えそうだ。

野党は勢いづいており、6月の国会会期末に向け、政権追及を強める構えだ。

投票率は衆院北海道2区補選が30・46%、参院長野選挙区補選が44・43%、参院広島選挙区再選挙が33・61%だった。（榎崎貴司）

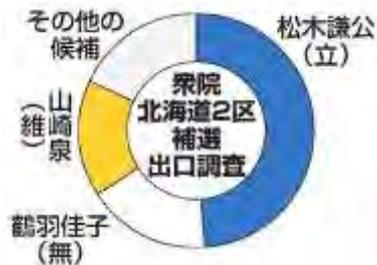
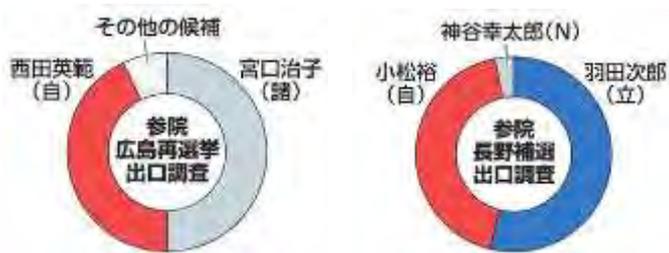
敵失に乗じた野党共闘 無党派層呼び込みには限界も

朝日新聞デジタル編集委員・堀江浩 2021年4月25日 23時25分



選挙戦を共にしたスタッフから花束を受け取り、笑顔を見せる宮口治子氏（中央）＝2021年4月25日午後10時37分、広島市中区、上田潤撮影





25日投票された衆参3選挙は野党が3勝したものの、激しく競り合った参院広島選挙区を除くと野党の迫力はいまひとつだった。

衆院北海道2区では、早々と当選を確実にした立憲の松木謙公氏の出口支持率と、対立した候補の出口支持率の合計に大きな差はなかった。野党「共闘」の結集力もすべてにおいて強固とまでは言えず、無党派層からの得票は4割台と支持の広がりを欠いた。

参院長野補選は2019年参院選とほぼ同じ構図となり、「吊い合戦」となったが、当選した羽田次郎氏の勢いは兄の雄一郎氏の19年の得票率55・13%を大きく上回るほどではない。

政府の新型コロナウイルス対応に厳しい目が注がれ、「政治とカネ」をめぐる問題で自民が守勢に立たされる中での国政選挙だったが、しっかり野党が勝ったと言えるのは参院広島選挙区ぐらいだろう。それも今回の再選挙のきっかけとなった買収事件が起きた現場である。

一般に、補欠選挙や再選挙は衆院総選挙や参院の通常選挙に比べて投票率が下がる。守りの姿勢の自公が組織選挙に力を入れる一方、野党側は候補の一本化で「共闘」したものの、無党派層を大きく呼び込むような選挙には至らなかった。「コロナ禍」で疲弊する有権者の心と野党ともにつかみかねたようにも見える。

秋までにある総選挙の行方をうらなう衆参3選挙と言われたが、与党側の「敵失」に乗じて野党が勝った側面が強い結果となった。(編集委員・堀江浩)

自民王国の広島でも敗北 菅首相の政権運営、綱渡りに
朝日新聞デジタル岡村夏樹 横山翼、吉川真布、鬼原民幸 2021年4月25日 23時01分



選挙戦を共にしたスタッフから花束を受け取り、笑顔を見せる宮口治子氏(中央) =2021年4月25日午後10時37分、広島市中区、上田潤撮影



菅政権になって初の国政選挙となった衆参トリプル選は政権与党が全敗する結果となった。衆院議員の任期満了まで残り半年。選挙戦で問われた「政治とカネ」の問題に加え、現下のコロナ対応への不満が高まるなか、菅義偉首相はより厳しい政権運営を迫られる。

25日午後10時過ぎ、与野党対決となった参院長野補選に続き、参院広島再選挙でも自民党候補の敗北のニュースが流れた。

これで独自候補を擁立せず「不戦敗」となった衆院北海道2区補選と合わせて全敗が決定。山口泰明選挙対策委員長は同日夜に記者団に「結果は残念だが、有権者の審判を厳粛に受け止める」とうなだれた。

長野は、立憲民主党幹部の死去に伴う「吊い選挙」で、与党が長年苦戦を強いられてきた地域でもあることから、当初から敗戦は織り込み済み。「最低1勝」(自民党関係者)と望みを託したのが広島だった。

選挙戦で徹底した「菅隠し」 与党内にも不協和音

広島は、2017年の衆院選…
残り：2144文字/全文：2554文字

「責任は全て私に」 自民・小松氏が敗戦の弁 参院長野
朝日新聞デジタル 2021年4月25日 22時53分



落選の知らせを受け、支援者に頭を下げる小松裕氏 =2021年4月25日午後8時15分、長野市県町、宮坂知樹撮影



新型コロナウイルスに感染した羽田雄一郎参院議員の急逝に伴う参院長野選挙区の補欠選挙は、雄一郎氏の実弟で、立憲新顔の羽田次郎氏（51）＝共産、国民、社民推薦＝の初当選が確定になった。

対立候補の自民新顔、小松裕氏（59）＝公明推薦＝は25日午後8時10分ごろ、長野市内のホテルで「このような結果になり、本当に申し訳ない。結果が全て。与党の長野県の議席を取り戻すことが出来なかった責任は全て私にある」と沈痛な表情で語った。

参院長野選挙区では、今回で、野党統一候補が自民候補に3連勝となった。

参院広島再選挙、野党系の新顔・宮口治子氏が当選確実に

朝日新聞デジタル 2021年4月25日 22時07分



支持を訴える宮口治子氏＝2021年4月8日

午前10時8分、広島市、小杉豊和撮影

参院広島再選挙をめぐる主な経緯

2020年	6月18日	2019年参院選をめぐる公職選挙法違反(買収)容疑で東京地検特捜部が前法相の河井克行氏と妻の案里氏を逮捕
	8月28日	安倍晋三首相(当時)が持病悪化を理由に辞任を表明
	9月16日	菅内閣が発足
2021年	1月21日	案里氏に懲役1年4カ月執行猶予5年の有罪判決
	2月3日	案里氏が議員辞職
	5日	案里氏に対する有罪判決が確定し、案里氏は当選無効に
	4月1日	克行氏が議員辞職

河井案里氏の当選無効に伴う参院広島選挙区の再選挙は25日投開票され、野党系で諸派新顔の宮口治子氏（45）＝立憲、国民、社民推薦＝が、自民新顔の西田英範氏（39）＝公明推薦＝らを破って初当選を確実にした。案里氏や夫の克行被告による買収事件に端を発した選挙で、「政治とカネ」が最大の争点だった。

宮口氏は、事件による自民への批判票を取り込もうと党派色を薄めた選挙戦を展開。街頭演説では「金権政治を認めない意思表示。選挙で事件に結論を出そう」と訴えた。推薦各党の党首らが続々と応援に駆けつけ、共産も支援した。

西田氏は、逆風の中で「信頼を取り戻す。自民党は変わらなくてはならない」と身内批判も展開。県連会長の岸田文雄・前政調会長が中心となって組織戦を繰り広げ、連立を組む公明も「挙党態勢」で支援したが、及ばなかった。

鈴木宗男氏「7月にも総選挙ある」 野党共闘は批判

朝日新聞デジタル 2021年4月25日 21時40分



4月25日投開票の衆院道2区補選に向けた事務所

開きで拳を振り上げる元道議の山崎泉氏（右）と、鈴木宗男参院議員＝2021年3月13日、札幌市北区、松尾一郎撮影



衆院北海道2区補選では立憲前職の松木謙公氏（62）の当選が確定になった。日本維新の会公認の新顔で地域政党「新党大地」推薦の前道議、山崎泉氏（48）は落選が確定に。山崎氏とともに札幌市内の事務所で開票結果を見守った、維新道総支部代表の鈴木宗男参院議員は「残念ながら当初から想定されたことですから、特別な落胆はない」としたうえで、「次につなげようと思って戦っていたので十分な手応えは感じたし、受け止めたと思っている。私は7月にも（総）選挙があるのではと思っていますので、次を楽しみにしています」と述べた。

当選が確定となった松木氏については「立憲、共産で野党統一候補になったわけですから、松木さんは寝ても当選できる。有権者を馬鹿にした話だと思う。自民党が出ていないのだから共産も立憲も候補者を出して議論すべきですよ」と批判した。

「コロナ対策どうなってるという声」 当選確実の羽田氏

朝日新聞デジタル 遠藤和希、里見稔 2021年4月25日 20時56分（2021年4月25日 21時30分更新）



羽田次郎氏

「菅内閣への批判、コロナ対策どうなってるという県民の声が示された」。25日夜、参院長野選挙区補選で当選確実となった立憲新顔の羽田次郎氏（51）は長野市内のホテルでインタビューに答えた。昨年末に新型コロナウイルスに感染して急逝した参院議員の兄雄一郎氏（当時53）への配慮から支援者は万歳を控え、拍手で初当選を祝った。

雄一郎氏の急死による補選。衆院議員だった祖父・武嗣郎氏、首相を務めた父孜氏と3代続いた政治一家の後継者に白羽の矢が立ったのは父の秘書だった次郎氏だった。「世襲」への懸念も支援者にはあったが、「甲い合戦には弟が適任」との意見でまとまった。

選挙戦でも次郎氏は「兄の遺志を継ぐ」と演説で繰り返し、立憲の福山哲郎幹事長は告示日に「雄ちゃんもお願いしているはず」と涙声で訴えた。政見放送にも生前の雄一郎氏の姿を何度も登場させた。

陣営を支えたのは、長野での「野党共闘」の実績だ。長野選挙区は、旧民進勢力と共産、連合長野などが推す候補が2016年、19年と自公候補に勝利。同じ構図の今回も、立憲の枝野幸男代表ら野党幹部が長野入りし、20日の集会では、立憲の野田佳彦元首相に続いて共産の小池晃書記局長が「この選挙に勝ち、衆院選で政権交代を」と氣勢を上げた。

終盤には立憲、国民民主、連合長野の各幹部がそろって演説し、結束を印象づけた。羽田陣営は政権与党で続く「政治とカネ」問

題でも、「緊張感がない」と攻め込んだ。
 野党共闘、衆院選に向け「しこり」も
 順風にみえた野党共闘だが…
 残り：396文字／全文：1043文字

4月8日午前10時8分、広島市、小杉豊和撮影

参院広島再選挙をめぐる主な経緯

2020年	6月18日	2019年参院選をめぐる公職選挙法違反(買収)容疑で東京地検特捜部が前法相の河井克行氏と妻の案里氏を逮捕
	8月28日	安倍晋三首相(当時)が持病悪化を理由に辞任を表明
	9月16日	菅内閣が発足
2021年	1月21日	案里氏に懲役1年4カ月執行猶予5年の有罪判決
	2月3日	案里氏が議員辞職
	5日	案里氏に対する有罪判決が確定し、案里氏は当選無効に
	4月1日	克行氏が議員辞職

有権者が望んだのは「金権政治」へのけじめだった。買収事件による河井案里氏の当選無効に伴う参院広島選挙区の再選挙。野党系の諸派新顔、宮口治子氏(45)が、自民新顔の西田英範氏(39)を破り、初当選を果たした。投票率は33・61%で、2019年参院選の44・67%を下回った。

「(選挙で)結論が出たということではないか」。広島市内の会場で支援者らに迎えられた宮口氏は、買収事件についてこう語った。立憲民主と国民民主、社民が推薦し、共産も支援。事実上の野党統一候補として、幅広い支持を得ようと党派色を薄め、推薦する各党の県組織などによる政治団体の公認候補として選挙に臨んだ。

案里氏や夫で元法相の克行被告=いずれも自民党を離党=による買収事件で自民に逆風が吹くなか、選挙戦終盤にかけて「政治とカネ」への言及を強めた。

街頭演説では事件について「政治が一部にしか向いていないから起きた」と強調し、「金権政治を認めない意思表示を」と支持を呼びかけた。推薦各党の党首や国会議員らが次々に応援に駆けつけた。立憲の枝野幸男代表は毎週末計3回にわたり広島入り。政治不信から棄権を選ぶ人が少なくないとみて、「政治がおかしいと思うなら一票を。投票に行かないのは認めるということだ」と訴えた。

一方で、与党側の敗北に対する衝撃は大きい。自民は「次の衆院選の指標になる重要な選挙」と位置づけ、自民党岸田派の岸田文雄・前政調会長も選挙戦を全面支援した。岸田氏に続いてあいさつに立った西田氏は「政治の信頼を取り戻す、との思いだったが、認識が甘かった」と肩を落とした。

将来の首相の座を狙う岸田氏にとっても地元での負けは許されない戦いだった。それだけに「政治とカネ」問題の反省と自己改革を前面に出した。

自民幹部「異様な空気感だった」

地元紙に「声をしっかりと受…」

残り：332文字／全文：1106文字

再選挙「事件の総括なく信じろと」記者が見た広島の異変

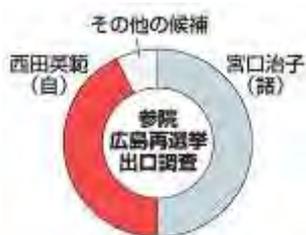
朝日新聞デジタル東郷隆 大久保貴裕 2021年4月25日 21時09分

「政治とカネ」重視のうち76%、野党系へ 参院広島

朝日新聞デジタル編集委員・堀江浩 2021年4月25日 22時31分



重視したのは……



野党系の候補が競り勝った参院広島選挙区は、投票者の31%が、投票する際に一番重視した項目に「政治とカネをめぐる問題」を挙げ、そのうち76%が野党系の宮口治子氏に投票していたことが25日、朝日新聞が実施した出口調査でわかった。

重視した項目は広島で「政治とカネ」が最多だったが、参院長野選挙区と衆院北海道2区は「新型コロナ対策」が最も多かった。その投票先は北海道2区は立憲の松木謙公氏に半数以上が流れ、参院長野選挙区は立憲の羽田次郎氏と自民の小松裕氏とで分け合った。

3選挙を通して「政治とカネ」を重視した人は多くが野党系に流れ、「新型コロナ対策」を重視した人の中で与党は大きく支持を広げられなかった。二つの問題が与党に重くのしかかる結果となった。

参院広島選挙区の宮口氏は立…

残り：501文字／全文：842文字

望んだ「金権政治」へのけじめ 再選挙で起きた地殻変動

朝日新聞デジタル東郷隆、大久保貴裕 2021年4月25日 22時21分



支持を訴える宮口治子氏=2021年



候補者の演説を聴く人たち

与野党対決となった参院広島選挙区の再選挙が25日、投票開票され、開票作業が続いている。公職選挙法違反（買収）の有罪判決が確定した河井案里氏＝自民を離党＝の当選無効に伴う異例の選挙。両陣営ともに「政治とカネ」の問題を前面に打ち出して選挙戦に臨んだ。

【記者が見た】現金受領を否定「政治家の言葉は信じられない」買収事件の疑惑発覚時から広島で取材を続ける中で、数々の「異変」を目の当たりにした。

「選挙だと忘れるくらい何もせんかった」。選挙戦終盤、河井克行被告から50万円を受け取った自民県連の広島市議は私に言った。克行氏と案里氏から現金を受け取ったとされる当時の現職政治家は40人。うち24人が県連に所属する。自民は「イメージが悪い」として支援を求めず、地方議員をフル回転して集票する従来の組織戦は展開できなかった。

その自民は再選挙で「信頼回復」「クリーン選挙」を掲げた。しかし、長年の支持者からも冷ややかな目線が向けられた。

2019年の参院選で、党本…

残り：1024文字／全文：1456文字

衆院北海道2区、野党共闘で安定の戦い 自民「不戦敗」

朝日新聞デジタル中野龍三、樞場勇太 2021年4月25日 20時05分



立憲民主党の松木謙公・前衆院議員

吉川貴盛・元農林水産相＝収賄罪で在宅起訴＝の議員辞職に伴う衆院北海道2区（札幌市北区の大部分と東区）の補欠選挙は、立憲前職の松木謙公氏（62）＝国民民主、社民、共産道委員会推薦＝が、日本維新の会やN党、無所属の新顔ら5人を破り、返り咲きで5度目の当選を果たした。

当選を決めた松木氏は札幌市内の党事務所で、「国民の皆さん、北海道の皆さんのために、生活が1ミリでも向上するように頑張りたい」とあいさつ。報道陣に「コロナを抑えこむことが第一。倒産などを防ぐ経済対策をして抑え込みに成功したら、『Go To』キャンペーンなど何でも積極的にやり、その後消費税減税を考えた方がいい」と語った。

吉川氏が所属した自民は候補擁立を見送り、「不戦敗」となった。一方、野党側は松木氏を統一候補として共闘態勢を確立。共産は告示前に候補を取り下げた。松木氏は連合など野党を支持する組織の支援を得て、安定した戦いを展開した。

吉川氏を支援していた保守層の支持を得ようと、維新が前道議を擁立したほか、保守系の無所属候補2人も立候補した。自民の幹部や地方議員が個別に支援したが、松木氏の優位は揺るがな

った。

政策を巡る調整は一時難航

野党側は補選勝利の勢いに乗…

残り：409文字／全文：932文字

衆院北海道補選、立憲・松木氏が当選確実 野党統一候補

朝日新聞デジタル 2021年4月25日 20時03分

吉川貴盛・元農林水産相＝収賄罪で在宅起訴＝の議員辞職に伴う衆院北海道2区（札幌市北区の大部分と東区）の補欠選挙は、立憲民主の前衆院議員、松木謙公氏（62）＝国民民主、社民、共産道委員会推薦＝が、日本維新の会やN党、無所属の新顔ら5人を破り、返り咲きで5度目の当選を確実にした。

補選には、北海道内の小選挙区としては過去最多に並ぶ計6人が立候補。「政治とカネ」の問題や、新型コロナウイルス対策が争点となった。吉川氏が所属した自民が候補擁立を見送り「不戦敗」となった一方、野党側は松木氏を統一候補として共闘態勢を確立。共産は告示前に候補を取り下げた。松木氏は連合など野党を支持する組織の支援を得て、安定した戦いを展開した。

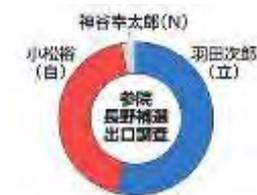
吉川氏を支援していた保守層の支持を得ようと、維新が前道議を擁立したほか、保守系の無所属候補2人も立候補。自民の幹部や地方議員が個別に支援したが、松木氏の優位は揺るがな

無党派層6割、自民も2割弱が羽田氏 参院長野出口調査

朝日新聞デジタル 2021年4月25日 21時00分



羽田次郎氏



19年参院選の再戦ともいえる長野選挙区は、立憲の羽田次郎氏が立憲支持層の9割、無党派層の6割をまとめ、自民支持層からも2割弱を得て当選を確実にした。

19年参院選は、今回と同じ構図で兄の雄一郎氏が得票率55・13%を挙げており、補選でも「羽田ブランド」を守った形だ。

自民の小松裕氏には自民支持層の8割が投票した。公明支持層からも8割の支持を得たが、無党派層からは3割にとどまった。

投票の際に重視した項目は「新型コロナ対策」40%が最多で、投票先は羽田氏と小松氏とにほぼ半々に分かれた。

【速報中】「河井夫婦にたたられた」 自民・宮沢洋一氏

朝日新聞デジタル 2021年4月26日 0時36分

参院の広島再選挙と長野補選、衆院北海道2区補選、名古屋市長選が25日夜、それぞれ開票されています。新型コロナウイルス対応の緊急事態宣言も同日から、東京、大阪、京都、兵庫の4都府県で適用されました。コロナ対応や「政治とカネ」の問題な

どをめぐり、有権者はどう判断するのか。タイムラインで速報します。

宮口・西田両候補の確定得票

宮口 治子 諸新 370,860

西田 英範 自新 336,924

参院広島県の投票率、19年を下回る

参院広島選挙区の投票率は33・61%で、2019年参院選の44・67%を下回った。

23:15

衆院北海道2区の投票率、過去最低

衆院北海道2区補選の投票率は30・46%だった。2017年の衆院選での同区の投票率は57・12%で大幅に下回った。道内の小選挙区で過去最低だったのは14年の衆院選2区の52・86%で、それも大きく下回り、現在の選挙制度となって以降で過去最低の投票率となった。当日有権者数は45万9958人だった。

今回の補選には道内の小選挙区で過去最多に並ぶ6人が立候補し、「政治とカネ」の問題や新型コロナウイルス対策が争点となった。しかし自民党が候補者擁立を見送って与野党の政策論争がなかったことや、コロナ禍での外出自粛、候補者が集会など有権者への積極的な働きかけをするのが難しくなったことも影響したとみられる。

23:10

大村知事「河村氏は公約実現するよう努力を」

名古屋市長選で、河村たかし氏が当選を決めたことを受け、愛知県の河村知事がコメントを発表した。

選挙の結果は率直に受け止めたい。

河村氏には、選挙に際し、公約したこと、訴えた政策を実現するよう努力することを望みたい。

横井(利明)氏本人及び支援した各政党はじめ支持された皆様のご尽力には敬意を表したい。

選挙の結果は出た訳だが、両者の得票がかつてなく拮抗(きっこう)したこと等を鑑みれば、多様な意見に耳を傾け、市議会とも熟議の上で市政を運営していくという二元代表制の民主主義の基本を踏まえた適切な対応を期待したい。

22:50

宮口・西田両候補の得票(中間)

宮口 治子 諸新 230,759

西田 英範 自新 214,572

22:40 広島市

自民・西田氏「県民の思いに近づけなかった」

敗れた自民新顔、西田英範氏は広島市内のホテルに設けられた陣営の会場で、「みなさまの思いと期待に応えることができなかった。本当に申し訳ありませんでした」と述べ、支持者らに深々と頭を下げた。

その上で「自民党の中に入って、問題に正面から向き合い、具体的に政治を変えていく。その思いを訴えてきたが、私の認識が甘かった。県民の思いにもっともっと近づかなければならなかったが、それができなかった」と肩を落とした。

22:40 党本部

立憲・福山幹事長「菅内閣に、厳しい審判」

三つの選挙で立憲民主党が公認、推薦した候補者が当選確実と

なったことを受け、立憲の福山哲郎幹事長は党本部で記者団の取材に応じ、「菅内閣に、きわめて厳しい有権者の審判が下された。

『政治とカネ』をはじめとする不祥事、後手後手のコロナ対応に国民の不信感がつのった結果だ」と語った。

福山氏は野党共闘について「野党が連携して一本化して戦うことが一定の評価につながった」と強調し、「各政党とは総選挙に向けて一本化した戦いをどのように展開していくか、改めて話し合いをはじめたい」との考えを示した。



立憲民主党の福山哲郎幹事長=2021年4月25日、立憲民主党本部、吉川真布撮影

22:40

参院長野の投票率、過去最低

参院長野選挙区補選の投票率は44・43%で、同選挙区で過去最低だった。長野県選挙管理委員会が発表した。通常選挙で過去最低だった2019年の前回参院選の54・29%と、補選で最低だった1948年の44・87%の両方を下回った。

22:35

「河井夫婦にたたられた」自民の宮沢・前県連会長

野党候補の当選確実報道を受…

残り：8271文字/全文：9905文字

公明・石井幹事長「政権運営に影響なし、とは言えない」

朝日新聞デジタル2021年4月25日 23時56分



記者団の取材に応じる公明党の石井啓一幹事長=2021年4月25日午後10時20分、東京都新宿区、太田成美撮影

菅政権にとって初の国政選挙となった参院広島選挙区再選挙と参院長野選挙区補欠選挙、衆院北海道2区補選が25日投票開票され、自民党は与野党対決となった広島と長野でいずれも敗れた。候補者擁立を見送った北海道を含め、「全敗」という結果に終わった。

公明党の石井啓一幹事長は25日夜、党本部で記者団の取材に応じ、「選挙結果については、真摯(しんし)に受け止めなければいけない。政権運営への影響はなし、とは言えない」と述べた。

一方で、広島での河井案里氏と夫の克行被告による買収事件など「政治とカネ」への不信感や、参院長野補選の「引い選挙」の要素を挙げ、「個別の要素も大きかったのではないかと強調した。

「全敗」の結果について、記者団から「与党全体に逆風が吹いていると感じるか」との問いにも、「内閣支持率、政党支持率を見ると、今の与党に大きな逆風があるとは思わない。広島選挙区の特有の事象だったのではないかとかわした。

広島再選挙「だまっとれん。」 与野党が深読みに乗

朝日新聞デジタル大久保貴裕、東郷隆 2021年4月24日9時



大通りに掲げられ、投票を呼びかける「だまっとれん。」の看板=2021年4月22日午後2時13分、広島市中区、福富旅史撮影



25日投開票の参院広島選挙区の再選挙で、県選挙管理委員会のキャッチコピー「だまっとれん。」が話題だ。投票を呼びかける意図だったが、ネット上で思わぬ「深読み」が拡散。これに与野党が便乗し、それぞれ独自の解釈を加えて利用している。

大型看板やポスター、チラシ、ネット動画。いずれも地元出身の女性アイドルが「だまっとれん。」と訴えるデザインだ。「若年層の投票率アップにつなげる」との狙いを踏まえ、大学准教授や大学院生、県職員ら7人の選定委員会が、広告会社4社の提案から選んだ。

ただ、県選管の担当者は「インパクトが強すぎたのか、過去にない反響だ」と困惑する。ともに自民を離党した河井案里氏と夫の克行被告による買収事件に端を発した再選挙のため、ネット上では「金権政治」「選挙不正」など自民を批判するフレーズに絡めて「だまっとれん。」とする投稿が相次いだのだ。

これに目を付けたのが、諸派新顔の宮口治子氏(45)だった。街頭演説で「だまっとれん」と大きく書かれたのぼりを掲げ、ツイッターでも「#だまっとれん」のハッシュタグで拡散を狙う。

陣営幹部は投票率が勝敗を左右するカギとみており、「事件を想起させ、県民感情を刺激するキャッチコピーだ」と歓迎する。

対する自民新顔の西田(にした)英範氏(39)も、だまっていた。21日夜の集会では「一昨年以降の広島県の政治は金権政治だった。だからこそ、私たち自身が言わなくてはならない」と切り出し、力を込めた。「だまっとれん!」。自民関係者は「野党の専売特許にはさせない。自民党内の改革を訴えるための象徴的な良い決めゼリフになる」と語る。

18日現在の期日前投票は約8万人。前回参院選の同時期より、約4万3千人少ない。(大久保貴裕、東郷隆)

自民の選対委員長「厳粛に受け止める」 二階氏は現れず 朝日新聞デジタル 2021年4月25日 23時51分



記者団の取材に応じる自民党の山口泰明選挙対策委員長=25日、自民党本部、野平悠一撮影

参院の広島再選挙と長野補選でいずれも自民候補の落選が事実になったことを受けて、自民党の山口泰明・選挙対策委員長は午後10時半ごろ、党本部で記者団に「残念だが、この結果は有

権者の審判。しっかり厳粛に受け止めて、今後の色々な選挙にも反省を踏まえ、やっていきたい」と語った。

自民は擁立を見送った衆院北海道2区補選も含めると「3敗」となった。山口氏は広島と長野の結果について「負けに不思議(な負け)はない」とした上で、「謙虚に反省しながら、しっかりと検証していきたい」と述べた。

記者から、河井案里氏と夫の克行被告による買収事件に端を発した「政治とカネ」問題が敗戦に影響したかと問われると、「それがね、ないとは言えませんが、それもひとつだと思います」と述べた。

当初は党本部に来る予定だった二階俊博幹事長は姿を見せなかった。

野党が衆参3勝、政権運営に打撃...菅政権発足後初の国政選挙 読売新聞 2021/04/25 23:34

菅政権発足後初の国政選挙となる衆院北海道2区、参院長野選挙区の両補欠選挙と参院広島選挙区の再選挙が25日、投開票された。与野党対決となった広島再選挙は、野党各党が推す諸派の宮口治子氏(45)が自民党の西田英範氏(39)に競り勝ち、初当選した。長野は立憲民主党の羽田次郎氏(51)、北海道2区は立民の松木謙公氏(62)が当選を決め、野党側が全勝した。

衆参3選挙では、菅政権半年の評価や「政治とカネ」の問題、新型コロナウイルス対策が主な争点となった。北海道2区の不戦敗を含め、自民が全敗したことは菅首相の政権運営にとって大きな打撃で、与党側は次期衆院選に向け、態勢の立て直しを迫られそうだ。

自民の山口泰明選挙対策委員長は25日夜、党本部で記者団に「残念だ。厳粛に受け止め、反省してやっていきたい」と語った。立民の福山幹事長は「この半年間の菅内閣に極めて厳しい有権者の審判が下された」と述べた。

広島再選挙は、2019年参院選を巡る大規模買収事件で有罪が確定した河井案里氏(自民を離党)の当選無効に伴って行われた。

立民、国民民主、社民各党の推薦を受けた宮口氏は「金権政治を許さない」と自民批判を展開した。立民の枝野代表や国民の玉木代表らが応援に入り、自民支持層を切り崩したほか、無党派層も取り込んだ。

西田氏側は、自民広島県連会長の岸田文雄・前政調会長が陣頭指揮を執り、組織固めに奔走した。公明党も山口代表ら幹部が相次いで広島入りしたが、逆風をはね返せなかった。

立民の羽田雄一郎・元国土交通相の死去に伴う長野補選は、雄一郎氏の弟の羽田次郎氏が事実上の与野党一騎打ちを制した。

「甲い選挙」を前面に出した羽田氏の元には、枝野氏や社民党の福島党首ら野党各党の幹部が駆けつけて共闘をアピールし、幅広い層から支持を得た。自民の小松裕氏(59)はコロナ禍を意識し、医師の経歴を強調して支援を呼びかけたが、及ばなかった。

収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛・元農相(自民を離党)の議員辞職に伴う北海道2区補選では、自民が候補者擁立を見送り、野党統一候補となった松木氏が序盤から戦いを優位に進めた。無所属の鶴羽佳子氏(53)や日本維新の会の山崎泉氏(48)らは保守層の取り込みを狙ったが、支持の広がりや欠いた。

参院広島再選挙、野党が推す諸派・宮口治子氏が初当選

読売新聞 2021/04/25 22:43

参院広島選挙区の再選挙は25日、投開票が行われ、諸派の新人・宮口治子氏（45）（立憲民主、国民民主、社民各党推薦）が初当選を決めた。

再選挙は、2019年参院選を巡る大規模買収事件で、公職選挙法違反（買収など）で有罪が確定した河井案里氏（自民党を離党）の当選無効に伴って行われた。

宮口氏のほか、自民党新人の元経済産業省職員・西田英範氏（39）（公明党推薦）ら、新人計6人が立候補していた。

選挙戦では「政治とカネ」の問題が大きな争点となった。自民は、街頭などで事件との「決別」を訴えたが、19年参院選で菅首相（当時は官房長官）が河井氏を支援した経緯もあり、首相は応援に入らなかった。

一方、野党は立憲民主党の枝野代表らが繰り返してこ入れを図り、自民批判を展開して保守層を取り込んだ。

参院長野補選、立民・羽田次郎氏が初当選

読売新聞 2021/04/25 22:07

参院長野選挙区補欠選挙は25日、投開票され、立憲民主党の羽田次郎氏（51）（共産、国民民主、社民各党推薦）が初当選を果たした。



参院長野選挙区で初当選した立憲民主党の羽田次郎氏（25日午後8時5分、長野市のホテルで）

補選には、羽田氏のほか、自民党の小松裕氏（59）（公明党推薦）、NHK受信料を支払わない方法を教える党の神谷幸太郎氏（44）が立候補した。

衆院北海道2区補選、立民・松木謙公氏が当選

読売新聞 2021/04/25 23:10

収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛・元農相（自民党を離党）の議員辞職に伴う衆院北海道2区補欠選挙は25日投開票され、立憲民主党の前衆院議員・松木謙公氏（62）（国民民主、社民両党推薦）が5回目の当選を決めた。



当選が確実となり、花束を手に笑顔の松木さん（中央）（25日午後8時15分、札幌市北区で）＝松本拓也撮影

自民が候補者擁立を見送った道2区補選では、共産党が候補者を取り下げ、党道委員会が松木氏を推薦。野党統一候補となった松木氏が序盤から戦いを優位に進め、日本維新の会や無所属などの新人候補5人を破った。

痛恨の3選挙全敗 広島も落とした自民 党内に「人事刷新」の声

毎日新聞 2021/4/25 22:48(最終更新 4/25 23:12)



記者団の質問に答える菅義偉首相＝首相官邸で2021年4月22日午後8時7分、竹内幹撮影

菅政権で初の国政選挙となった衆参3選挙。与党は「政治とカネ」の問題が逆風となり、「全敗」が決まった。保守地盤が厚い参院広島再選挙を落としたことは痛手で、菅義偉首相の足元を揺るがす結果となった。野党は、次期衆院選に向けた共闘戦略に手応えを得て勢いづきそうだ。

「何か変えないと次の衆院選は厳しい。もう人事刷新という声が出ている」。自民党ベテランは、全敗の結果を受けて、こう漏らした。閣僚の一人は「今回…残り2341文字（全文2541文字）」

立憲・福山氏「不祥事・コロナで国民が不信感」衆参3選挙与党全敗

毎日新聞 2021/4/25 23:15(最終更新 4/25 23:15)



国会議事堂（手前）と周辺＝東京都千代田区で、本社ヘリから佐々木順一撮影

自民「全敗」となった衆参3選挙の結果を受け、立憲民主党の福山哲郎幹事長は25日夜、党本部で記者団に「この半年間の菅内閣に極めて厳しい審判が下された。政治とカネをはじめとする不祥事の数々、3度の緊急事態宣言に至った後手後手の新型コロナウイルス対応に国民の不信感が募ったことがこの結果につながった」と強調した。

共産党の小池晃書記局長は「新型コロナ対策に対する政権の無為無策に対する不安と不満が高まり、金権腐敗、買収選挙に対する大きな怒りが広がっている。政府与党は、選挙結果を重く受け止めてほしい」と訴えた。

自民・山口選対委員長「謙虚に反省、検証して正す」

毎日新聞 2021/4/25 22:55(最終更新 4/25 22:55)



自民党本部＝東京都千代田区で

自民党の山口泰明選対委員長は25日夜、菅政権発足後初の国政選挙となった衆参3選挙で「全敗」したことを受け、党本部で記者団に「（結果は）厳しいが厳粛に受け止める。謙虚に反省し、しっかり検証して正すところは正したい」と述べた。

「政治とカネ」を巡る問題の影響に関しては「ないとは言わな

い」と語った。【小田中大】

参院広島制した宮口治子氏「小さな声をしっかりと聞く」

毎日新聞 2021/4/25 22:50(最終更新 4/25 23:30)



当選確実となり支援者らとグータッチ

する宮口治子氏＝広島市中区で2021年4月25日午後10時51分、大西達也撮影

有権者の政治不信が大きくなるとなり、「政治とカネ」を巡る問題にノーを突き付けた。25日投開票された参院広島選挙区再選挙は、立憲民主、国民民主、社民各党の広島県組織などで作る政治団体「結集ひろしま」から出馬し、3党の推薦を受けたフリーアナウンサーの宮口治子氏(45)が政治不信や与党批判を追い風に、自民党公認で公明党が推薦した元経済産業省課長補佐の西田英範氏(39)らとの激戦を制した。三つの補選・再選挙をいずれも落とした自民は、次期衆院選へ大きな痛手を負った。

この午後10時15分ごろ、テレビで当選確実が報じられると、広島市中区の事務所では集まった支援者らの拍手が響いた。新型コロナウイルスの感染防止のため、支援者らは無言で万歳。宮口氏は「まだ少し信じられない気持ちがあり、ドキドキしている。この度はありがとうございます。小さな声をしっかりと聞いていきたい」と述べ、深々と頭を下げた。

2019年参院選広島選挙区を巡る大規模買収事件で有罪が確定した河井案里元参院議員の当選無効に伴う今回の再選挙。立憲が候補者の人選に手間取り、宮口氏が立候補を表明したのは3月20日で、告示日まで3週間を切っていた。2月26日に出馬表明した西田氏は既に企業を回って顔と名前を売り込んでいた。宮口氏は今月8日の告示日の第一声で「金権政治に『ノー』と言ってもらわなくてはならない大事な選挙。変える勇気を持ってください」と「政治とカネ」が争点であることを宣言。追い風を受け、一気に挽回を図った。



当選確実となり笑顔を見せる宮口治子氏＝広島市中区で2021年4月25日午後10時28分、大西達也撮影

コロナ下の選挙となり、マスク姿では顔を覚えてもらいにくい。そのため、同じ物を3着用意した純白のジャケットに身を包み、イメージ作りや知名度アップに力を注いだ。3児の母で、双子の長男(18)は重度の発達障害があることも打ち明け、女性の活躍を訴えた。

政治経験のない宮口氏を、次々と広島入りした野党の応援弁士も支えた。立憲の枝野幸男代表や国民の玉木雄一郎代表、社民の福島瑞穂党首らのほか、立憲の蓮舫代表代行や国民の舟山康江政調会長、無所属の嘉田由紀子参院議員といった女性議員も結集し

た。

一方、広島は過去3回の衆院選で7小選挙区のうち六つを自民が占めた保守王国だが、西田氏は大規模買収事件による逆風をはねのけることができなかった。西田氏は「不徳の致すところだ。期待に応えられず、心よりおわびする」と述べ、頭を下げた。



選挙戦を振り返る西田英範氏＝広島市中区

の選挙事務所です。2021年4月24日午後8時24分、賀有勇撮影

当初は「クリーンな選挙」をアピールしながらコロナ禍での経済対策などを中心に訴えた。だが各種情勢調査でリードされていることが伝わると、前回参院選で自民党本部から案里元議員の陣営に渡った1億5000万円や、事件後に目立った議員活動をできなかった案里元議員が受け取った歳費の返還の制度化にも積極的に言及。街頭演説の中で事件に関する発言の割合を増やし、不信感の払拭(ふっしょく)に腐心した。

だが、事件の影響で被買収議員を中心に、地方議員が表だって活動しにくくなるなど組織力が発揮できず、案里元議員の当選無効で失った議席を取り戻すことはできなかった。【小山美砂、賀有勇、関東晋慈】

自民関係経験者「人事刷新の声が出てくる」 3選挙全敗

毎日新聞 2021/4/25 22:48(最終更新 4/25 22:48)



国会議事堂(手前)と周辺＝東京都千代田

区で、本社ヘリから佐々木順一撮影

自民党の関係経験者は25日夜、衆参3選挙の結果を踏まえ、「(秋までにある)衆院選に向けて、人事刷新の声は出てくる」と強調した。

「何か変えた感じがしないと衆院選は厳しい。夏には内閣改造や党人事の話が盛り上がってくるのではないかと述べ、女性関係を増やす可能性も指摘した。

衆参3選挙で与党全敗 次期衆院選の前哨戦、菅政権に打撃

毎日新聞 2021/4/25 22:20(最終更新 4/25 23:18)



一票を託す有権者(イメージ)

菅政権発足後初の国政選挙となった参院広島選挙区再選挙、参院長野選挙区補選、衆院北海道2区補選は25日投開票された。激戦だった広島再選挙は、諸派新人の宮口治子氏(45)＝立憲民主党、国民民主党、社民党推薦＝が、自民党新人の西田英範氏(39)＝公明党推薦＝ら5氏を破って初当選した。自民は長野補選でも敗北し、候補者を立てなかった北海道2区補選と合わせて「全敗」となった。政権には大きな打撃で、菅義偉首相の今後の政権

運営に影響を与えそうだ。

長野補選は、立憲民主党の新人、羽田次郎氏（51）＝共産党、国民民主党、社民党推薦＝が初当選した。北海道2区補選は、立憲民主党の元職、松木謙公氏（62）＝国民民主党、社民党推薦＝が5回目の当選を果たした。

3選挙は次期衆院選の前哨戦の位置付けで、政府の新型コロナウイルス対応や「政治とカネ」の問題が主な争点となった。

広島再選挙は、公職選挙法違反で有罪が確定した河井案里元参院議員（自民を離党）の当選無効に伴い行われた。フリーアナウンサーの宮口氏は、元経済産業省課長補佐の西田氏との事実上の一騎打ちを制した。地方議員らに現金を配った河井元議員の事件の波紋は大きく、政治とカネの問題が焦点となった。宮口氏は立憲、国民、社民各党の県組織などで作る政治団体「結集ひろしま」から立候補し、3党の推薦を受けた。共産は独自に支援したが、野党の協力が奏功した。西田氏は事件の影響が尾を引き、支持が広がらなかった。

自民の山口泰明選対委員長は25日夜、河井事件の影響について「ないとは言えない。敗因の一つだ」と党本部で記者団に述べた。

長野補選は、立憲の羽田雄一郎元国土交通相の死去に伴い実施され、投票率は44・43%だった。雄一郎氏の弟で、野党統一候補の羽田氏は「甲い合戦」を前面に打ち出した。羽田氏が共産党県委員会などと結んだ政策協定を巡って、野党共闘態勢は一時乱れたが、支持基盤が強固なこともあり、自民新人で元衆院議員、小松裕氏（59）ら2氏を降した。

北海道2区補選は、収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛元農相（自民を離党）の辞職に伴うもの。投票率は30・46%だった。自民は吉川元農相の事件を受けて候補者擁立は困難とみて「不戦敗」を選択した。共産は擁立した候補者を取り下げ、立憲の松木氏が野党統一候補となった。松木氏は、政府の新型コロナ対策の強化や消費税減税などを訴えて支持拡大を図り、日本維新の会の新人で元道議、山崎泉氏（48）ら5氏を破った。【青木純】

自民閣僚経験者「コロナ対応に国民の不满」 3選挙全敗

毎日新聞 2021/4/25 22:42(最終更新 4/25 22:43)



国会議事堂＝川田雅浩撮影

衆参3選挙の結果について、自民党の閣僚経験者は「新型コロナウイルス対応への国民の不满は当然ある。国民は鬱憤がたまり、はげ口を求めている、今回は『自民党にはお引き取り願おう』という力が働いた」と指摘した。

自民党への「逆風」に関しては「民主党が政権を取った時の方が厳しかったが、近づきつつある。今は野党が受け皿になっていないから救われているが、不満そのものはあの時と同じだ」と語った。

公明・石井幹事長「政権への影響ないとは言えない」 3選挙全敗

毎日新聞 2021/4/25 22:42(最終更新 4/25 22:42)



公明党の石井啓一幹事長＝西夏生撮影

公明党の石井啓一幹事長は25日夜、参院長野選挙区補選と参院広島選挙区再選挙で、公明党が推薦した自民候補の敗戦が報じられると、党本部で記者団に「政権運営への影響はないとは言えない」と述べた。

敗因については「政権運営への評価に加えて、長野は甲い選挙、広島は大型買収事件に対する反発、不信という個別の要素も大きかったのではないかと語った。【木下訓明】

新人の宮口治子氏が当選確実 自民新人ら破る 参院広島再選挙

毎日新聞 2021/4/25 22:20(最終更新 4/25 22:56)



当選確実となり支持者らと喜ぶ宮口治子氏

子氏(中央)＝広島市中区で2021年4月25日午後10時29分、大西達也撮影

25日に投開票された参院広島選挙区再選挙で、諸派新人のフリーアナウンサー、宮口治子氏(45)＝立憲民主党、国民民主党、社民党推薦＝が、自民党公認の新人で元経済産業省課長補佐、西田英範氏(39)＝公明党推薦＝らを破り、当選を確実にした。

痛恨の3選挙全敗 広島も落とした自民 党内に「人事刷新」の声

毎日新聞 2021/4/25 22:48(最終更新 4/25 23:12)



記者団の質問に答える菅義偉首相＝首相官邸で

2021年4月22日午後8時7分、竹内幹撮影

菅政権で初の国政選挙となった衆参3選挙。与党は「政治とカネ」の問題が逆風となり、「全敗」が決まった。保守地盤が厚い参院広島再選挙を落としたことは痛手で、菅義偉首相の足元を揺るがす結果となった。野党は、次期衆院選に向けた共闘戦略に手応えを得て勢いづきそうだ。

「何か変えないと次の衆院選は厳しい。もう人事刷新という声が出ている」。自民党ベテランは、全敗の結果を受けて、こう漏らした。閣僚の一人は「今回...

残り 2341 文字 (全文 2541 文字)

「兄の命を奪ったコロナ」対策批判の羽田氏が当確 参院長野補選

毎日新聞 2021/4/25 21:29(最終更新 4/25 22:19)



参院長野選挙区補選で当選が確定となり、贈ら

れた花束を手に笑顔の羽田次郎氏＝長野市で 2021 年 4 月 25 日午後 8 時 5 分、宮間俊樹撮影

菅政権下で初めての国政選挙として 25 日に投開票された衆参 3 選挙。衆院北海道 2 区補選は立憲民主党元職の松木謙公氏 (62)＝国民民主党、社民党推薦＝が、参院長野選挙区補選は立憲民主党新人の羽田次郎氏 (51)＝共産党、国民民主党、社民党推薦＝が、それぞれ当選を確実にした。

立憲民主党の羽田雄一郎元国土交通相の死去に伴う長野補選。「甲い合戦」に臨んだ弟の羽田氏は「兄の命を奪った新型コロナを一日も早く収束させる」と訴え、幅広い支持を取り付けた。25 日夜、当選確実の報に「兄の思いを引き継いでやっていきたい」と話した。

父は 2017 年に死去した元首相の孜氏。非自民勢力を結集して強固な地盤を築いた。秘書を務めたこともある羽田氏は、父の政界引退前から手がけていた会社経営に専念。地盤は兄が引き継いだ。

状況を一変させたのは新型コロナウイルスだった。20 年 12 月 27 日。羽田氏は兄の急逝を、秘書からの電話で知った。兄は数日間、東京都内の自宅で療養したものの回復せず、PCR 検査を受けようと病院に向かう車中で容体が急変した。



参院長野選挙区補選で当選が確定となり支

援者とグータッチをする羽田次郎氏 (右)＝長野市で 2021 年 4 月 25 日午後 8 時 2 分、宮間俊樹撮影

ほどなく補選への出馬を決意した羽田氏。くしくもその日は、父が 1969 年に衆院選で初当選した記念すべき日だった。志半ばで倒れた兄と父が「政治の道へ進め」と後押ししてくれるような気がした。

選挙戦では、菅政権の新型コロナ対策への批判を展開。「兄はもっと早く PCR 検査を受けていたら助かっていた」と訴え、検査体制の脆弱 (ぜいじゃく) 性を指摘した。世襲政治への反発も懸念されたが、事実上の一騎打ちとなった自民党新人、小松裕氏 (59)＝公明党推薦＝も医師の立場から新型コロナ対策を論戦の柱に据え、批判の声は高まらなかった。【坂根真理】

自民の「不戦敗」で議論実らず 立憲勝利の衆院北海道 2 区補選

毎日新聞 2021/4/25 21:20(最終更新 4/25 23:19)



当選が確定となり、支援者から花束を受け

取る松木謙公氏 (中央)＝札幌市北区で 2021 年 4 月 25 日午後

8 時 15 分、貝塚太一撮影

菅政権下で初めての国政選挙として 25 日に投開票された衆参 3 選挙。衆院北海道 2 区補選は立憲民主党元職の松木謙公氏 (62)＝国民民主党、社民党推薦＝が、参院長野選挙区補選は立憲民主党新人の羽田次郎氏 (51)＝共産党、国民民主党、社民党推薦＝が、それぞれ当選を確実にした。

収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛元農相 (自民党を離党) の辞職に伴う北海道 2 区補選。「政治とカネ」を巡る問題が注目されたが、自民党が「不戦敗」を選んだことで、議論は活発化したとは言い難い。

補選は計 6 人が立候補する乱戦に。松木氏は選挙戦で、長年の政敵だった吉川氏を念頭に「『政治とカネ』が争点になること自体が問題」「政治の力を自分のお小遣いに変えてはいけぬ。(収賄罪は) そもそもやってだめなことで、法律違反だ」と批判した。

保守系無所属の新人で元アナウンサーの鶴羽佳子氏 (53) は「一部の国会議員に力が集中している。この流れを断ち切らなければ」と述べ、日本維新の会新人の山崎泉氏 (48) は「企業・団体献金を一切受け取らず、政治の信頼を回復する」と主張した。

だが、こうした主要候補の主張には、必ずしも多くの時間が割かれなかったのが実情だ。自民党候補が不在のまま、吉川氏への批判を繰り返しても、他候補との差別化を図りづらいことも背景にあったとみられる。



衆院北海道 2 区補選が始まり、立憲民主党の

逢坂誠二衆院議員と「ひじタッチ」する松木謙公氏 (左)＝札幌市北区で 2021 年 4 月 13 日午前 9 時 19 分、貝塚太一撮影

新型コロナウイルス対策の「まん延防止等重点措置」適用を政府に要請することも取り沙汰される北海道。松木氏ら主要候補の主張は、政府の感染対策への批判や注文に重点が置かれることとなった。

松木氏は 25 日夜、札幌市内の事務所で集まった支持者らを前に「北海道のため、2 区に住む皆さんのため、少しでも生活を良くするために頑張っていきたい」と語った。【源馬のぞみ、土谷純一】

衆参 3 選挙で苦戦 与党が抱える「政治とカネ」の傷痕

毎日新聞 2021/4/25 21:11(最終更新 4/25 21:40)



記者団の質問に答える菅義偉首相＝首相官邸で

2021 年 4 月 19 日午前 9 時 45 分、竹内幹撮影

菅政権で初の国政選挙となった衆参 3 選挙。参院広島選挙区再選挙は与野党が競り合う接戦となった。与党は「政治とカネ」の問題で苦戦を強いられ、政権への打撃を最小限に抑えるため「全敗」回避に腐心した。野党は、次期衆院選に向けた共闘の成否が試される選挙となった。

自民県連は首相や二階氏の広島入り拒否

「広島再選挙の結果は政権運営に特に影響しないだろう」。自民党幹部は、結果が判明する前から繰り返し予防線を張った。広島での苦戦は当初の想定を超えていたためだ。

広島再選挙は、2019年の前回参院選での大規模買収事件で、河井案里元参院議員が当選無効になったことに伴うものだ。事件の舞台となった参院選で、河井元議員は自民2人目の公認候補として擁立された。当時官房長官だった菅義偉首相ら政権・与党幹部がこぞって応援に入った。河井元議員は当選したが、広島県連が支援した現職は落選。党本部と県連の間でそのしこりが残る中、自民新人の西田英範氏(39)が立候補。県連会長の岸田文雄前政調会長が前面に出て「西田さんは経済産業省で力を発揮してきた」と強調。清廉潔白さもアピールして「河井事件」との切り離しを狙った。県連は「マイナスになる」と首相や二階俊博幹事長らの広島入りを拒んだ。

だが、有権者の反応は政権・与党の想像以上に厳しかった...
残り 2755 文字 (全文 3309 文字)

衆参3選挙で与党2敗 北海道2区と長野、立憲候補が当確 毎日新聞 2021/4/25 20:02(最終更新 4/25 21:14)



一票を託す有権者 (イメージ)

菅政権発足後初の国政選挙となった衆院北海道2区補選、参院長野選挙区補選、参院広島選挙区再選挙は25日投開票された。長野補選は、立憲民主党の新人、羽田次郎氏(51)＝共産党、国民民主党、社民党推薦＝が当選を確実にした。北海道2区補選は、立憲民主党の元職、松木謙公氏(62)＝国民民主党、社民党推薦＝が5回目の当選を確実にした。6人が立候補した広島再選挙は、諸派新人の宮口治子氏(45)＝立憲民主党、国民民主党、社民党推薦＝と、自民党新人の西田英範氏(39)＝公明党推薦＝が競り合っている。

3選挙は次期衆院選の前哨戦の位置付けで、与党の2敗が確定した。菅政権の新型コロナウイルス対応や「政治とカネ」の問題が主な争点となった。

長野補選は、立憲の羽田雄一郎元国土交通相の死去に伴い行われた。雄一郎氏の弟で、野党統一候補の羽田氏は「甲い合戦」を前面に打ち出した。羽田氏が共産党県委員会などと結んだ政策協定を巡って、野党の共闘態勢は一時乱れたが、支持基盤が強固なこともあり、自民新人で元衆院議員、小松裕氏(59)との事実上の一騎打ちを制した。

北海道2区補選は、収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛元農相(自民を離党)の辞職に伴うもので、自民は吉川元農相の事件を受けて候補者擁立は困難とみて「不戦敗」を選択した。共産は擁立した候補者を取り下げ、立憲の松木氏が野党統一候補となった。松木氏は、政府の新型コロナ対策の強化や消費税減税などを訴えて支持拡大を図り、日本維新の会の鈴木宗男参院議員らが支援した同党の新人で元道議、山崎泉氏(48)ら5氏を破った。

広島再選挙は、公職選挙法違反で有罪が確定した河井案里元参院議員(自民を離党)の当選無効に伴い実施された。宮口、西田両氏の事実上の一騎打ちの構図で、河井元議員の事件を受けて、

政治とカネの問題が焦点となり、各候補は「クリーンさ」を競い合う展開となった。【青木純】

衆参3選挙、自民「全敗」 菅政権発足初の国政選 衆院北海道2区・松木氏 参院長野・羽田氏 参院広島・宮口氏 日経新聞 2021年4月25日 20:56 (2021年4月25日 23:31 更新)



参院広島選挙区再選挙で当選が決まり、支持者とタッチを交わす宮口治子氏(右、25日夜、広島市)＝共同

衆院北海道2区、参院長野選挙区の両補欠選挙、参院広島選挙区の再選挙が25日、投開票された。自民党は与野党対決となった長野と広島でいずれも候補が敗れ、候補擁立を見送った北海道2区を含めて1議席も得られなかった。菅義偉首相は政権運営の立て直しが必要になる。

3選挙は2020年9月の菅政権発足後初めての国政選挙で、今年秋までにある衆院選の前哨戦となった。新型コロナウイルスへの対応や「政治とカネ」を巡る問題が争点だった。

参院広島選挙区の再選挙は河井案里氏(自民を離党)の公職選挙法違反事件による当選無効に伴う。立憲民主党などが推薦し共産党も支援した諸派新人の宮口治子氏が事実上の与野党一騎打ちに勝利した。



参院長野選挙区補選で当選を決め、支援者から拍手で祝福される羽田次郎氏(右から3人目、25日夜、長野市)＝共同

自民が擁立した新人の西田英範氏は事件の影響で組織を固めきれず届かなかった。

参院長野選挙区は立民の新人、羽田次郎氏が20年末に新型コロナウイルスに感染し死去した兄の雄一郎氏の「甲い選挙」を掲げた。共産、国民民主、社民各党の推薦を受けて臨んだ。

自民新人で元衆院議員の小松裕氏らは新型コロナ対策の強化などを訴えたものの、支持が広がらなかった。



衆院北海道2区補選で当選を決め、自身の名前に花を付ける松木謙公氏(中央、25日夜、札幌市)＝共同
北海道2区補選は収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛元農相(自民を離党)の議員辞職を受けた。立民が擁立した元職の松木謙公氏は野党共闘の枠組みで優位に選挙戦を進めた。日本維新の会の新人候補らは届かなかった。

投開票日の25日は東京や大阪などで新型コロナの感染拡大による緊急事態宣言の適用が始まった。感染収束へ出口が見えない状

況で、政権の対応を巡る有権者の審判となった。7月4日投票率の東京都議選や、首相の衆院解散戦略にも影響を与えかねない。投票率は衆院北海道2区が30.46%、参院長野が44.43%でいずれも過去最低を記録した。参院広島は33.61%だった。

参院広島再選挙、野党系の宮口氏が当選

日経新聞 2021年4月25日 22:31



参院広島選挙区再選挙の開票結果を待つ、

自民党の岸田文雄県連会長（右から3人目、25日夜、広島市）＝共同

参院広島選挙区の再選挙が25日投票され、諸派新人の宮口治子氏が当選を決めた。宮口氏は立憲民主、国民民主、社民各党の推薦を受けた。

公職選挙法違反の有罪判決で河井案里氏（自民党を離党）が当選無効になったことに伴う再選挙。宮口氏は「政治とカネ」問題などによる自民批判票の受け皿となった。自民新人で公明党が推薦する西田英範氏は政治への信頼回復などを訴えたが、支持が広がらなかった。

野党共闘、2選挙区で一定の効果 共同通信出口調査

日経新聞 2021年4月25日 21:42



衆院北海道2区補選で当選を決め、花束を受け取る松木謙公氏（25日夜、札幌市）＝共同

衆院北海道2区補欠選挙と参院広島選挙区再選挙で共同通信社が実施した出口調査によると、2選挙区とも立憲民主党支持層の80%超、共産党支持層の70%超が野党共闘候補に投票したと回答した。いずれも野党支持層から幅広く支持を得ており、共闘は機能したと言えそうだ。広島では「支持する政党はない」と答えた無党派層の73.2%も共闘候補を支持した。

北海道2区では立民元職で国民民主、社民両党が推薦した松木謙公氏が立民支持層の86.3%、国民支持層の61.1%をまとめた。支援した共産は支持層の79.1%が松木氏に投票した。無党派層の45.3%も取り込んだ。

広島再選挙で立民、国民、社民が推薦した諸派新人宮口治子氏は立民支持層の96.9%、社民支持層の70.8%を押さえた。宮口氏を支援した共産支持層の86.5%も獲得した。

宮口氏には自民支持層の26.9%、公明支持層の19.0%も流れた。

〔共同〕

38%が「政治とカネ」重視 参院広島再選挙の出口調査

日経新聞 2021年4月25日 21:17

25日投票の参院広島選挙区再選挙で、共同通信社が実施した出口調査によると、調査に応じた人のうち、候補者を選ぶ際に重

視した点として「政治とカネ」問題を挙げた人が38%で最も多く、うち75%が政治団体「結集ひろしま」新人の宮口治子氏（45）、20%が自民新人の西田英範氏（39）に投票した。



参院広島再選挙で、間隔を空けるため一部

の記載台が使用禁止となった投票所（25日午前、広島市）＝共同
宮口氏は立憲民主、国民民主の両党支持層の90%超、共産党支持層の86%を固めた。自民党支持層の27%、公明党支持層の19%が宮口氏に流れたほか、「支持政党はない」とした無党派層の73%を押さえ、幅広く支持を集めた。

一方、西田氏は自民支持層の69%、公明支持層の75%を固めた。無党派層は17%で伸びなかった。候補者を選ぶ際に「経済・景気政策」「新型コロナウイルス感染対策」を重視すると回答した人では、宮口氏の支持を上回った。

〔共同〕

参院広島で痛恨の敗戦、自民・岸田氏、次期総裁選へのもくろみ崩れる

産経新聞 2021.4.26 00:52

25日に投票された参院広島選挙区再選挙は、自民党広島県連会長として陣頭指揮を執った岸田文雄前政調会長にとっても、痛恨の敗戦となった。再挑戦をうかがう次期総裁選に向け、存在感を高める絶好の機会として岸田派（宏池会）を挙げての総力戦で臨んだが、発端となった「政治とカネ」の問題への風当たりは予想以上に強く、再選挙を総裁選への「追い風」とするもくろみは崩れた。

「力不足で結果を出せなかった。申し訳ない」

岸田氏は25日夜、広島市内のホテルで記者団にこう語り、無念の表情を浮かべた。

広島は池田勇人、宮沢喜一両元首相を輩出した「保守王国」だ。元法相の河井克行被告（自民離党）と妻の案里前参院議員が引き起こした令和元年7月の参院選広島選挙区をめぐる買収事件への批判は広がっていたが、党内では当初、「勝って当然だ」（幹部）と楽観ムードが漂っていた。

ところが、選挙戦が始まり、報道各社の情勢調査で野党共闘候補のリードが判明すると、空気は一変した。元年参院選では、菅義偉（すが・よしひで）首相の後押しを受けた案里氏が初当選したあおりで岸田派の現職が落選したため、派内には「事件は案里氏側によるもの」との意識が強かったが、派幹部は「有権者から見れば同じ自民党だ。事件のダメージは想像以上に大きい」と漏らした。

巻き返りに躍起になった岸田氏は選挙戦中はほとんど広島を離れず、街頭演説では「自民党は変わらなければならない」と支持を訴えた。地元紙に自らの写真付きの広告を掲載するなど、宣伝役も買って出た。

これまで距離があるとされてきた二階俊博幹事長にも頻りに電話をかけて情勢を報告するとともに支援を要請。外相などを歴任した「エリート」の印象が強かった岸田氏のなりふりかまわぬ戦いぶりに、「まるで岸田さん自身の選挙じゃ」（県議）との声も

上がった。

だが、買収事件にかかわった県議や広島市議らは表立った行動はできず、陣営はまとまりを欠いた。前県連会長の宮沢洋一元経済産業相が「事件に関わった議員は（再選挙の）応援に入らなくていい」などと発言したことで党本部も序盤は支援に及び腰となり、最終盤に野田聖子幹事長代行や丸川珠代五輪相らが広島入りしたが、出遅れ感は否めなかった。

岸田氏は次期総裁選を見据え、自らの外交・安全保障戦略を打ち出し、安倍晋三前首相との連携強化に動き出した矢先だった。党内には県連立て直しのため、火中の栗を拾う形で会長を引き受けた経緯があることから「岸田さんの責任にするのは酷だ。首相を含め、党全体の責任だ」（幹部）と擁護する声上がる。ただ、それでも地元での大一番を落としたことによる求心力への影響は避けられない。安倍、菅両政権を通じ、一貫して首相候補に名を連ねてきた岸田氏は、剣が峰に立たされた。

（永原慎吾、児玉佳子）

自民・岸田前政調会長、参院広島選挙区再選挙敗北「県民の怒り、大変大きいものがあった」

産経新聞 2021.4.26 00:45

25日投開票の参院広島選挙区再選挙で、自民党広島県連会長として陣頭指揮を執った岸田文雄前政調会長は、選挙の敗因について「『政治とカネ』の問題への県民の怒りは大変大きいものがあると改めて感じた」と述べた。広島市内で記者団の質問に答えた。

また、投開票直前に前経済産業相の菅原一秀衆院議員が有権者に対し、参加していない旅行の「会費」などの名目で現金を提供していた疑いが報じられたことを踏まえ、「『もういいかげんにしてくれ』という思いだ。私たちは政治の信頼回復を真剣に考えなければならぬ」と強調した。

衆参3選挙 野党全勝、次期衆院選に弾み 候補一本化に協議加速

産経新聞 2021.4.26 00:38

立憲民主党など野党は、3補選・再選挙で全勝したことで、次期衆院選に向けて勢いづきそうだ。候補者の一本化を通じた野党共闘もひとまずは成功を収めたといえ、今後、衆院選での共闘を具体化する動きが進むとみられる。

立民の福山哲郎幹事長は25日夜、3選挙に勝利したことについて「率直に言って大変うれしく思っている。この半年間の菅義偉（すが・よしひで）内閣に極めて厳しい有権者の審判が下された」と述べた。

立民などの野党は接戦が伝えられた広島を含め、3選挙での統一候補の全勝で、次期衆院選の共闘にも弾みがつくと見る。

今回の野党共闘に関し、福山氏は「野党が連携し、（候補者を）一本化して戦うことが一定の評価につながった」と指摘。その上で、次期衆院選に向けて共産、国民民主、社民各党と候補者一本化に向けた協議を進める考えを示した。

ただ、立民の支持母体で、労働運動をめぐって共産と対立してきた連合には、共産との共闘に拒否感が強い。参院長野補選では、立民新人が共産と協定を結んだことに連合傘下の民間労組が激

しく反発した。立民には、衆院選での共闘態勢を構築する上で、共産との距離感が課題となる。

（原川貴郎）

衆参3選挙 与党、最悪の「全敗」 政治とカネ、コロナ対応で逆風

産経新聞 2021.4.26 00:34

昨年9月の菅義偉（すが・よしひで）政権発足後、初の国政選挙となった衆院北海道2区、参院長野選挙区の両補欠選挙と参院広島選挙区再選挙。「政治とカネ」の問題に揺れる自民党や、新型コロナウイルス対応をめぐる3回目の緊急事態宣言の発令決定に追い込まれた菅政権への逆風はやまず、不戦敗の北海道2区を含め「全敗」という最悪の結果となった。

自民の山口泰明選対委員長は、3選挙全てに敗れたことについて「有権者の審判を厳粛に受け止めたい。『負けに不思議の負けはない』というが、しっかり検証したい」と語った。公明党の石井啓一幹事長は「政権運営への影響はなしとはいえない」と述べた。25日夜、それぞれの党本部で記者団に答えた。

元農林水産相の吉川貴盛被告（自民離党）が鶏卵汚職事件で議員辞職したことを受けた北海道2区補選で、自民は「信頼回復を優先する」として候補を擁立しなかった。3選挙全てに敗れば政権へのダメージは計り知れず、「最悪でも1勝1敗1不戦敗」（自民幹部）を目指した。

ただ、長野、広島ともに厳しい戦いを強いられた。長野補選は立憲民主党の羽田雄一郎氏の急逝に伴う「弔い選挙」。実弟が立民の新人で出馬し、父の孜（つとむ）元首相から受け継ぐ「羽田ブランド」を前に歯が立たなかった。

公職選挙法違反で有罪判決が確定した河井案里前参院議員（自民離党）の当選無効に伴う広島再選挙でも自民は逆風にさらされた。次期衆院選で広島3区に初めて候補を擁立する公明は自民からの支援を見据え、隣接県の地方議員まで動員して票の上積みを図ったが、公明幹部は「政治とカネの問題に最後まで厳しい視線が向けられた」と語った。

（力武崇樹）

自民・山口選対委員長「審判を厳粛に受け止める」 衆参3選挙 与党全敗

産経新聞 2021.4.26 00:13

自民党の山口泰明選対委員長は25日夜、同日投開票された衆院北海道2区、参院長野選挙区の両補欠補選と参院広島選挙区の再選挙で与党が全敗したことについて「有権者の審判を厳粛に受け止める。今後のいろいろな選挙に、この反省を踏まえてやっていきたい」と語った。党本部で記者団に答えた。

山口氏は、敗因について「長野、広島はそれぞれ選挙事情がある。しっかり検証して正すべき点は正し、いいところは伸ばしていきたい」と説明した。全敗した党執行部の責任に関して記者に問われ、「今後の検討課題だ」とも述べた。

立民・福山幹事長、3選挙全勝「菅内閣に厳しい審判下された」

産経新聞 2021.4.26 00:02

立憲民主党の福山哲郎幹事長は25日夜、同日投開票の衆院北

海道2区、参院長野選挙区の両補欠選挙と参院広島選挙区再選挙の全てで野党統一候補が当選したことを受け、「全てで勝利したことは、率直に言って大変うれしく思っている。この半年間の菅義偉内閣に極めて厳しい有権者の審判が下された」と述べた。

勝因については『政治とカネ』をはじめとする不祥事の数々、3度の緊急事態宣言に至った後手後手のコロナの対応に、国民の不信感が募った」と分析した。

また、3選挙での野党共闘に関し、「野党が連携し、(候補者を)一本化して戦うことが一定の評価につながった」とした上で、「各政党とは来るべき衆院選に向けて、一本化した戦いを、どのように展開をしていくのか、改めて話し合いを始めていきたい」と述べた。

公明・石井幹事長、3選挙与党全敗に「綱紀を正し、信頼回復に取り組む」

産経新聞 2021.4.25 23:57

公明党の石井啓一幹事長は25日、衆院北海道2区補欠選挙での与党不戦敗と、参院長野選挙区補選、参院広島選挙区再選挙での自民党候補敗北について、「真摯(しんし)に受け止めなければいけない。綱紀を正し、国民の信頼を回復するために全力で取り組む」と述べた。党本部で記者団に語った。

昨年9月の菅義偉(すが・よしひで)政権発足後、初の国政選挙で「全敗」となり、石井氏は「政権運営への影響はなしとはいえない」と指摘。次期衆院選で公明が初めて候補を擁立する広島3区への影響も懸念されるが、「(影響を)最小限にすべく、今回の結果をよく分析し、しっかりと取り組みたい」と述べた。

自民・岸田前政調会長「大変な逆風の選挙戦」 参院広島選挙区再選挙

産経新聞 2021/04/25 22:01



© 産経新聞社 自民・岸田前政調会長「大変

な逆風の選挙戦」 参院広島選挙区再選挙

25日投開票の参院広島選挙区再選挙の陣頭指揮を執った自民党広島県連会長の岸田文雄前政調会長は自民新人、西田英範(39)の支持者らが集まる広島市内のホテルで地元テレビ局の取材に応じ、『政治とカネ』の問題でマイナスからのスタートだった。大変な逆風を受けながらの選挙戦だった」と述べた。

自民・岸田氏「注視したい」 参院広島選挙区再選挙

産経新聞 2021.4.25 21:19

25日に投開票された参院広島選挙区再選挙に出馬した自民新人、西田英範(39)の支持者らが集まる広島市内のホテルには、午後9時前に党広島県連会長の岸田文雄前政調会長が姿を現した。岸田氏は選挙情勢について「注視したい」と述べた。

自民幹部「厳しい結果だ」 菅政権で初の国政選、3選挙全敗に深刻視拡大

東京新聞 2021年4月25日 23時36分

与党では25日、衆参3選挙で自民党が不戦敗を含め全敗したのを受け「厳しい結果だ」(自民党幹部)などと深刻な見方が広がった。自民党の山口泰明選対委員長は党本部で記者団に「謙虚に反省する」と語った。菅政権の新型コロナウイルス対応などへの批判が敗因になった可能性を問われ「直接それが影響したとは考えていない」と述べた。

同時に、選挙結果の詳細な分析を急ぐ意向を示し「ただすべき点はただし、良いところはそのまま伸ばす」と指摘した。

公明党の石井啓一幹事長は記者団に「大変残念だ。真摯に受け止めなければいけない」と指摘。敗因に関しては「長野では吊い選挙、広島では大型買収事件に対する反発といった個別の要素も大きかった。内閣や政党の支持率を見ると、与党に大きな逆風があるとは思わない」とした。

自民党の閣僚経験者は「政治とカネの問題に加え、政府の新型コロナウイルス対応への批判も相当あった。どこを回っても感じた」と振り返った。別の党幹部は「菅政権の不祥事や、各省庁の不手際も重なった」と分析した。(共同)

野党統一の宮口氏初当選 広島再選挙、激戦制す「今回の結果で、買収事件の結論出た」

東京新聞 2021年4月25日 22時23分

参院広島選挙区再選挙で当選が決まり、支援者とタッチを交わす宮口治子氏(左)＝25日夜、広島市

河井案里前参院議員(47)の当選無効に伴う参院広島選挙区再選挙は25日投開票され、政治団体「結集ひろしま」新人の宮口治子氏(45)＝立民、国民、社民推薦＝が、自民党新人の西田英範氏(39)＝公明推薦＝との激戦を制し、初当選した。

2019年参院選で、河井陣営が起こした多額買収事件が発端となった選挙戦。保守王国の広島で自民に大逆風となる中、宮口氏は「政治とカネ」問題で自民批判票の受け皿となった他、唯一の女性候補者として育児や福祉政策を訴えた。

宮口氏は初当選を受け広島市内の選挙事務所で「今回の結果で、買収事件の結論は出た。どうしてこのような事件が起きたのかを説明してほしい」と述べ、自民側に説明責任を十分に果たすよう要求した。

西田氏は政治への信頼回復や「クリーン選挙」を訴えたが届かなかった。敗北後、支援者を前に買収事件を念頭に「県民の思いにもっと近づかなければならなかった」と敗因を語った。

いずれも無所属新人の佐藤周一氏(45)、大山宏氏(72)、玉田憲勲氏(63)、NHK受信料を支払わない方法を教える党の新人山本貴平氏(46)は及ばなかった。(共同)

衆参3選挙、自民全敗 菅政権、初国政選で打撃 激戦広島は野党系制す 長野、北海道2区も立民

東京新聞 2021年4月25日 22時22分

次期衆院選の前哨戦となる衆院北海道2区と参院長野選挙区の補欠選挙、参院広島選挙区再選挙が25日投開票され、自民党は全敗を喫した。立憲民主党など野党は4党共闘で臨み3勝した。菅政権発足後、初の国政選挙で菅義偉首相(自民総裁)に打撃となった。衆院議員任期満了が10月に迫る中、首相の衆院解散戦

略に影響を与えるのは必至。与党内で早期解散への慎重論と、首相の下での衆院選に懸念の声が出そうだ。

自民は北海道2区で不戦敗。激戦の広島、長野で公明の推薦を得て戦った。野党は連合を中心とした組織票をまとめ、「政治とカネ」や新型コロナウイルス対応を巡る政権批判票を取り込んだ。

広島は、公選法違反（買収）で有罪が確定した河井案里前参院議員（自民離党）の当選無効に伴う再選挙で、諸派新人宮口治子氏（45）＝立民、国民、社民推薦＝が共産党の支援も受けて自民新人との激戦を制した。

収賄事件で吉川貴盛元農相（自民離党）が議員辞職したのに伴う北海道2区補選は、立民元職の松木謙公氏（62）＝国民、社民推薦＝が共産の支援も得て5選。立民の羽田雄一郎元国土交通相の死去に伴う長野補選は、弟の立民新人羽田次郎氏（51）＝共産、国民、社民推薦＝が自民新人らを退け初当選した。「甲い合戦」と位置付け、幅広く浸透した。（共同）

野党共闘の立憲・松木氏勝利 衆院道2区補選 5新人に大差 投票率30・46%

北海道新聞 04/26 01:33 更新



衆院道2区補選で当選を確実にし、支援者から贈られた花束を掲げる立憲民主党の松木謙公氏＝25日午後8時15分、札幌市北区（野沢俊介撮影）

衆院道2区補選開票速報	
※25日午後11時15分現在。開票率49%	
当 31,300	松木 謙公 62 立元5 国社共
14,200	鶴羽 佳子 53 無新
12,000	山崎 泉 48 維新 因
7,800	長友 隆典 52 無新
2,800	小林 悟 56 無新
2,700	斉藤 忠行 29 N新

松木 謙公 党道2区総支部代表、会社社長▷札幌市▷青学大

収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛元農水相（自民離党）の議員辞職に伴う衆院道2区（札幌市北区の一部、東区）補欠選挙は25日、投開票され、立憲民主党元職の松木謙公氏（62）＝国民民主党、社民党、共産党道委員会推薦＝が、無所属新人の元HBCアナウンサー鶴羽佳子氏（53）ら新人5人を抑え通算5回目の当選を果たした。菅義偉政権発足後初の国政選挙となったが、自民、公明の与党が候補擁立を見送り、主要野党の統一候補となった松木氏が圧勝した。

投票率は30・46%で、前回2017年の衆院選道2区の57・12%から26・66ポイント下落。衆院選が小選挙区制で行われた1996年以降、道内で最低だった14年の道2区の52・86%を大きく下回ったほか、投票率が衆院選より一般的に低い衆院補選でも全国最低だった16年の京都3区補選の30・12%に次ぐ低さとなった。与党不在や新型コロナウイルスが影響したとみられる。

選挙戦は新型コロナ対策や「政治とカネ」の問題が注目された。松木氏は2月に政治資金の会計処理問題を公表したものの、3月に共産党が候補取り下げを決めて主要野党の候補一本化が実現。各党幹部らが応援に入ったほか、新型コロナで影響を受けた事業者への支援拡充や消費税減税などを訴え、立憲や共産の支持層を固めた。無党派層からも支持を得たほか、自民、公明の支持層も一部取り込んだ。

松木氏は25日夜、支持者らに「国民や道民の生活が1ミリでも向上するように頑張りたい」と語った。

鶴羽氏は唯一の女性候補として女性の活躍する社会の実現などを呼び掛け、自民党幹部や公明党関係者の一部から応援を受けたが、及ばなかった。日本維新の会新人の山崎泉氏（48）＝新党大地推薦＝は、企業・団体献金の禁止や議員報酬・定数の引き下げを訴えたが、支持の広がりを欠いた。

無所属新人の弁護士長友隆典氏（52）は自民党員であることを強調し、丘珠空港の滑走路延長など経済対策の強化を掲げたが、伸び悩んだ。無所属新人の医師小林悟氏（56）と、NHK受信料を支払わない方法を教える党新人の斉藤忠行氏（29）は浸透しなかった。（村田亮）

衆参3選挙、自民が全敗 菅政権、初の国政選で痛手

北海道新聞 04/26 00:48 更新



自民党の宮沢洋一参院議員（右）と話す岸田文雄北海道連会長＝25日夜、広島市



菅政権発足後、初の国政選挙となった衆院北海道2区と参院長野選挙区の補欠選挙、参院広島選挙区再選挙が25日投開票され、自民党は不戦敗を含め全敗を喫した。立憲民主党など野党は4党共闘で臨み3勝。次期衆院選の前哨戦で菅義偉首相（自民総裁）に痛手となった。衆院議員任期満了が10月に迫る中、首相の衆院解散戦略に影響を与えるのは必至。与党内で早期解散への慎重論と、首相の下での衆院選に懸念が出そうだ。

自民は北海道2区で候補を擁立せず、激戦の広島、長野で公明党の推薦を得て戦った。保守地盤の広島を含めた全敗は、「政治とカネ」やコロナ対応を巡る政権批判の根強さを裏付けた。

初当選の羽田氏 41万票余獲得 参院長野県区補選

信濃毎日新聞 2021/04/25 23:47

参院長野県区補欠選挙（欠員1）は25日投開票され、立憲民主党新人の羽田次郎氏（51）＝共産、国民民主、社民推薦＝の初当選を決めた。羽田氏は41万5000票余を獲得、次点の自

民党新人の小松裕氏（59）＝公明推薦＝に約9万票の差をつけた。

補選は羽田氏、小松氏、NHK受信料を支払わない方法を教える党新人の神谷幸太郎氏（44）の3人が立候補。羽田氏、小松氏による事実上の「与野党1対1」の対決構図となった。

羽田氏は、兄の雄一郎氏が新型コロナで急逝したことから、検査や医療態勢の強化を主張。雄一郎氏が掲げた子ども重視の政策を継続し、多様な生き方が尊重される社会の実現に向けて「声なき声を国政に届ける」と訴えた。

小松氏は、医師から転身して衆院議員を2期5年務めた経験を前面に打ち出し、新型コロナウイルスワクチンの早期接種など「医療と政治をつなぐ役割を担う」と主張。安全保障や防災対策、国土強靱（きょうじん）化にも力を入ると訴えた。

神谷氏は県内で選挙活動はしなかった。

投票は県内144カ所で行われた。

参院長野県区補選は、衆院北海道2区補選、参院広島選挙区再選挙とともに菅義偉政権発足後、初の国政選挙となった。

◇

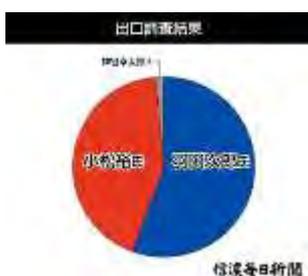
当 羽田 次郎	41万5781票
小松 裕	32万5826票
神谷幸太郎	1万7559票
無効・持ち帰り	9921票

信毎出口調査で羽田氏リード

信濃毎日新聞 2021/04/25 20:02

信濃毎日新聞が25日に実施した参院長野県区補欠選挙（欠員1）の出口調査で、立憲民主党新人の羽田次郎氏（51）が、自民党新人の小松裕氏（59）とNHK受信料を支払わない方法を教える党新人の神谷幸太郎氏（44）の2氏をリードし、当選が確実な状況となった。

出口調査は、県内有権者の縮図となるよう、有権者比率や地域特性などにに基づき、市町村・投票所を抽出。34市町村の80投票所で、投票直後の有権者3100人余に聞いた。



自民全敗、衆参3選挙 参院広島は宮口氏当選「政治とカネ」批判結集

中国新聞 2021/4/25 23:32



参院広島選挙区の再選挙で、当選確実の知らせを受けて喜ぶ宮口氏（中）

参院広島選挙区の再選挙は25日、投開票され、諸派新人でフリーアナウンサーの宮口治子氏（45）＝立憲民主、国民民主、社民推薦＝が初当選した。野党勢力を結集して「政治とカネ」の問題を批判し、逆風を浴びた自民党新人で元経済産業省官僚の西田英範氏（39）＝公明推薦＝たち5人を破った。自民党は同日投開票の衆院北海道2区、参院長野選挙区の両補選を合わせた3選挙で全敗となり、菅義偉首相の求心力の低下が避けられない情勢だ。

2019年7月の参院選広島選挙区を巡る大規模買収事件で自民党から初当選した河井案里元参院議員が当選無効になったのに伴う短期決戦。宮口氏は、広島県内の野党勢力でつくる諸派の政治団体「結集ひろしま」から立ち、野党3党の推薦や共産党の自主支援を受けて事実上の野党統一候補となった。諸派の新社会党や連合の推薦も得て、野党支持層をまとめた。

各党の党首たちの来援で精力的に遊説。案里氏と夫で元自民党衆院議員の克行被告が公選法違反罪に問われた大規模買収事件で自民党の姿勢を責め立て、「政治とカネ」に批判的な無党派層を取り込んだ。重い発達障害のある長男をはじめ3児を育てた経験を発信し、弱者に光を当てる訴えも広く共感を集めた。

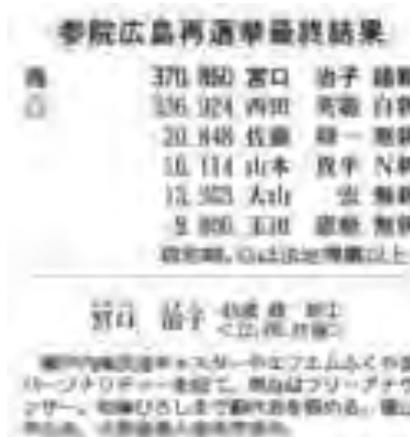
▽自民への風当たり想像以上...

西田氏は、自民党県連の岸田文雄会長（広島1区）の指揮の下、党国会議員や地方議員が支持層を引き締める組織戦を徹底。公明党も幹部を投入し、与党支持層を固める戦術を採った。ただ自民党への風当たりは想像以上に強く、政治改革の主張は届かなかった。

野党は自民党支持層の厚い参院広島選挙区で競り勝ち、共闘で一定の成果を上げた。同日投開票の国政3選挙のうち、衆院北海道2区、参院長野選挙区は立憲民主党が制しており、年内の衆院選へ弾みをつけた。

自民党は国政や地方で繰り返されてきた「政治とカネ」の問題で、厳しい民意を突き付けられた。3敗の結果は、菅首相の今後の政権運営や衆院の解散戦略に影響する可能性がある。

再選挙に立候補したNHK受信料を支払わない方法を教える党と無所属のほかの新人4人は、支持を伸ばせなかった。当日有権者数は232万7323人。投票率は33・61%で、参院広島選挙区では補選を含めて過去2番目の低さだった。（岡田浩平）



自民不信、浮き彫り「最後まで河井夫妻にたたられた」

中国新聞 2021/4/25 23:45



西田さんの落選が確実になり、静まり

返る自民党の国会議員や広島県議たち

「政治とカネ」を巡り、自民党への信頼失墜が明確に示された。自民党の陣営による大規模買収事件に端を発した参院広島選挙区の再選挙で25日、自民党新人の西田英範さん(39)が敗れ、野党3党が推薦した諸派新人の宮口治子さん(45)が当選を決めた。自民党内では当初、自信の声も聞かれたが、有権者からの逆風は想像以上だった。年内にある衆院選をにらみ、悲鳴が上がった。

「何とか勝ち抜ける選挙と思っていたが...。自らの非力を恥じる」。西田さんの落選の知らせを受け、宮沢洋一選対本部長(参院広島)は敗戦の弁を述べた。

党県連は3月、首相を目指す岸田文雄前党政調会長(広島1区)が会長に就き必勝を期した。県内は支持基盤が厚く、県議たちは当初、「普通に戦えば勝てる」と自信を見せていた。

だが、大規模買収事件で有罪が確定し、当選無効となった河井案里元参院議員(47)と夫で元衆院議員の克行被告(58)＝公判中＝は自民党所属だったため、「政治とカネ」を巡る批判の矛先は党県連にも向けられた。河井夫妻側に提供した1億5千万円の説明責任を果たさない党本部の対応も不信感を増幅させた。

2019年の参院選広島選挙区で自民党は2議席独占を掲げ、現職だった溝手頭正さん(78)に加え、案里元参院議員を擁立。党本部が案里元参院議員、党県連が溝手さんを応援する分裂選挙となり、溝手さんが落選した。県連側には、地元の反対を押し切る形で案里元参院議員を立候補させた党本部に対するしこりが残った。

県連の幹部の一人は「われわれは溝手さんを推し、案里さんと敵対していた。それを有権者に理解してもらえていると思ったが、そうではなかった」と嘆いた。選挙期間中、大規模買収事件について陣営幹部が謝罪するなどしたが、有権者の厳しい反応を覆すまでには至らなかった。

「後援会が必死に動いているのに、支援の輪が広がらない」。選挙戦の最中、宮沢選対本部長は旧民主党に政権交代した09年の衆院選に近い感覚だと明かした。敗北確定後は「河井事件を発端にした再選挙。最後まで河井夫妻にたたられた」と恨み節を口にした。

地方議員の動きが鈍ったのも敗因の一つとなった。河井夫妻から現金を受け取ったとされる党県連所属の県議12人、広島市議12人たちは表立って動けず、実動部隊となる地方議員を各市町に多く抱える自民党の強みを生かせなかった。

県連のある幹部は「まだ逆風は収まらない。衆院選は県内で大敗するのではないかと天を仰いだ。党県連と党本部は年内にある衆院選に向け、早急に立て直しを迫られることになる。(河野揚)

岸田氏の求心力低下必至 自民敗北、総裁選再挑戦に影

中国新聞 2021/4/26 0:46



開票の行方を厳しい表情で見守る岸田氏(左)ら自民党広島県連の幹部

参院広島選挙区の再選挙で自民党新人の西田英範氏(39)が敗れたことは、党広島県連会長として選挙戦を陣頭指揮した岸田文雄前党政調会長(衆院広島1区)の「ポスト菅」としての立ち位置に影を落とす。党総裁選再挑戦へ「負けられない戦い」だったからだ。

「県連会長として心からおわびする」。西田氏の支持者が集まった広島市中区のホテルで、岸田氏は頭を下げた。

広島は自身が率いる岸田派の拠点。池田勇人、宮沢喜一の両元首相を出し、県連所属国会議員8人のうち6人を岸田派が占める。次期首相を狙うには選挙の「顔」になれると示す必要がある。岸田氏は再選挙の「陰の主役」でもあった。

再選挙は2019年7月の参院選広島選挙区を巡る大規模買収事件で有罪が確定した河井案里元参院議員(47)の当選無効に伴う。同選挙では党本部が強引に擁立し、陣営に1億5千万円を提供した新人の案里氏が当選。あおりで岸田派のベテラン現職が落選した。

岸田氏は再選挙を党県連の「出直し選挙」と位置付け「自民党を作り直していく」と訴えた。選挙カーに乗り込み声をからした。岸田派議員や秘書団に携帯電話を配り、ノルマを設け電話作戦を指示。「あんな必死な姿は見たことがない」と周囲も目を見張った。

一方で案里氏に肩入れした安倍晋三前首相や菅義偉首相、二階俊博幹事長を表立って批判することはなかった。昨秋の党総裁選で「踏み込んだ発言をしていく」と誓ったが、党内に波風を立てないことを優先したように見えた。

敗因は自民党への不信に尽きる。「政治とカネ」問題の逆風に加え、説明責任を果たさない党本部と、党県連が同一視された結果だ。岸田氏の求心力低下は避けられない。(下久保聖司)

公明、衆院選広島3区へ崩れたシナリオ

中国新聞 2021/4/26 0:46

自民党新人の西田英範さん(39)の落選で、推薦した公明党に衝撃が広がった。年内にある衆院選や、党が重視する東京都議選(7月)の「前哨戦」と位置付けて全面支援しただけに、落胆は大きい。再選挙に勝ち、党副代表を与党統一候補として立てる衆院選広島3区へ弾みをつけるシナリオはもろくも崩れ去り、関係者は危機感を募らせた。

西田さんの落選が伝わると、広島市中区のホテルで待機していた公明党の地方議員たちは肩を落とした。「党の力で当選させる」と街頭や集会で声をからしてきた党広島県本部の幹部も、険しい表情を見せた。

▽有権者1万人以上を回る...

選挙期間中、広島県内の地方議員55人に合計で事業所1万カ所以上、有権者1万人以上を回るとの目標を割り当てた。中国地

方5県の計約150人の地方議員を広島市に集める異例の緊急会合を開いたほか、山口那津男代表や石井啓一幹事長たち党幹部が来援して党支持層を引き締めた。

衆院広島3区は、大規模買収事件で公選法違反罪に問われた河井克行被告の地盤。次の衆院選では、公明党副代表で衆院比例代表中国ブロック現職が「与党代表」に決まり、立憲民主党新人と相まみえる。

今回の再選挙で結果を出し、衆院選での自民党側の全面支援につなげるという公明党の戦略は、根底が覆った。与党代表を決める過程で生じた与党の県組織間のあつれきを危惧する声もある。シナリオの練り直しを迫られるのは必至だ。(長久豪佑)

自民以外が改選2議席を初の独占 参院広島再選挙、宮口さん当選

中国新聞 2021/4/25 22:55



宮口治子さん

参院広島選挙区の再選挙で、立憲民主党が擁立した諸派新人の宮口治子さん(45)が当選したことで、野党系の2人が2025年改選の2議席を占める。自民党が結党された1955年以降、同党の地盤の厚い広島選挙区で非自民党による改選2議席の独占は初となる。自民党は再選挙の発端となった19年7月の参院選広島選挙区で、改選2議席の独占を狙って党公認候補を2人立てたがかなわず、再選挙で独占を許す形となった。

19年7月の参院選広島選挙区は7人で争い、旧国民民主党公認から無所属に転じて立った現職の森本真治さんがトップ得票で再選した。2位で自民党新人の河井案里元参院議員が当選した一方、自民党現職だった溝手顕正さんが落選した。

森本さんは昨年の方合流を経て立憲民主党に所属する。森本さんと宮口さんが25年に改選を迎えれば、野党系で2議席独占を目指すかどうか焦点となる。

参院広島選挙区では「小泉旋風」の01年にトップ当選した無所属新人が自民党入りし、2位当選の自民党現職と2議席を占める形になったことがある。22年の参院選では、自民党現職の宮沢洋一さんと野党系無所属現職の柳田稔さんが改選を迎える。

(宮野史康)

菅自民「全敗」求心力低下は必至 カネ、コロナ…自民離れ止まらず

西日本新聞 4/25(日) 22:20 配信



国会議事堂

秋までに必ずある衆院選を前に、菅義偉政権に少なからぬダメージをもたらす結果となった。25日、衆参3選挙での与党「全敗」一。政権発足後、初となる国政選挙で、自民党は特に保守地

盤の厚い参院広島選挙区に注力したが、再選挙の原因である「政治とカネ」問題への逆風に加え、新型コロナウイルス「第4波」を防げなかったとの批判に抗しきれなかった。首相の「選挙の顔」としての求心力が低下するのは避けられず、衆院解散を巡る判断、総裁選での再選戦略にも影響が及ぶのは必至だ。【写真】秋田時代、友人と実家近くの川で捕ったマスを手にする菅氏 自民は今回、参院広島選挙区を「絶対に負けれない戦い」と位置付けた。衆院北海道2区補欠選挙は不戦敗を余儀なくされ、参院長野選挙区補選は野党現職の死去に伴う「弔い合戦」のため、当初から劣勢。これに対し広島は、選挙買収事件で有罪が確定した河井案里氏の当選無効を受けた再選挙ではあるものの、自民の「牙城」で勝算が高いと踏んでいた。2月に突如、河井氏が参院議員を辞職したのも、3月15日までに辞めれば北海道、長野の補選と同日程で再選挙が行われる公職選挙法の規定を生かし、自民サイドが「1勝」を稼ぎにくい戦略だったとみられる。ただ、不祥事の「つけ」は想定より重かった。2019年の参院選で河井氏を熱烈に支援した首相らは買収事件の余波で応援に入らず、地元をはいづくばって1票を積み上げる実動部隊の県内の地方議員も運動量を上げられない。全国のコロナ新規感染者数は告示後に増加の一途をたどり、皮肉にも政権は投票日である25日から3回目の緊急事態宣言を發出せざるを得なくなった。首相に近い自民幹部が23日時点で、「事件のしこりが残る選挙で負けは仕方ない」と記者団に予防線を張るほど、政権はコーナーに追い込まれていた。

衆院解散に関し、首相は23日の記者会見で、9月30日の総裁任期満了前に踏み切る考えをほのめかした。夏の東京五輪・パラリンピックを成功に導き、その余勢を駆って解散を断行。一定の勝利を獲得して「国民の信を得た」とアピールし、総裁選を無投票再選に持ち込むのがメインシナリオだ。だが、ただでさえ無派閥で党内基盤の弱い首相の求心力は、今回のトリプル選全敗で深く傷ついた。自民は1月の山形県知事選、3月の千葉県知事選で推薦候補が連敗し、1月の北九州市議選でも現職6人が落選するなど地方選でも不調が続く。10月に衆院議員の任期満了を控える中、「選挙の顔」の資格に強い疑問符が付けば、力の源泉である解散権を実質的に封じられたり、党内のムード次第で「菅降ろし」が表面化したりする可能性もゼロとは言えない。政策面では、首相が「最優先課題」と位置付けるコロナ対応の行方が注視される。「(人に任せず)全部を自分で決めたがる性格」(官邸スタッフ)と言われる首相は、これまでも緊急事態宣言の是非や観光支援事業「Go To トラベル」の停止などを巡り、決断のぶれや迷走を指摘されることがあった。選挙の敗北が政権支持率にマイナスに作用した場合、首相がその時々でよりの確、合理的な意思決定を行っていく政治基盤も損なわれる事態が有り得る。九州選出の自民中堅衆院議員は、今後の政治情勢をこう占ってみせた。「今回の負け戦で、有権者の『自民離れ』の底流が変わっていないことが裏付けられた。一気に『政局』になるかもしれんよ」(湯之前八州)

衆参補選・再選挙 与野党の反応は

NHK2021年4月25日 23時57分



菅政権にとって最初の国政選挙となった衆参 3 つの選挙について、与野党の反応です。

自民 山口選対委員長「厳粛に受け止め反省をして今後の選挙に」
自民党の山口選挙対策委員長は、党本部で記者団に対し「残念だが、結果は有権者の審判として厳粛に受け止め、反省をして今後の選挙に生かしたい。『負けに不思議の負けなし』であり、それぞれの選挙事情もあるので、今後、検証したい」と述べました。一方で、記者団が、政権運営への批判を敗因ととらえているか質問したのに対し「直接それが影響したとは考えていない」と述べました。

自民 下村政調会長「国民の声を謙虚に受け止める」
自民党の下村政務調査会長は、NHK の取材に対し「国民の声を謙虚に受け止める。菅政権のもとで、自民党が一体となって国民の信頼を回復できるよう努めていかなければならない」と述べました。

自民 柴山幹事長代理「大変厳しい結果」
自民党の柴山幹事長代理は、NHK の取材に対し「大変厳しい結果で、厳粛に受け止めている。一方、報道各社の世論調査では、内閣支持率や自民党の支持率は底堅いという結果も出ていて、それぞれの選挙区の個別の事情が影響したのではないかと。政府・与党が一体となり、新型コロナウイルスなどの国難に、結束して取り組むべきだ」と述べました。

自民 石破元幹事長「自民党の一員として深く反省」
自民党の石破元幹事長は、NHK の取材に対し「今回の選挙結果は、菅総理大臣の政権運営への批判というより自民党のこれまでの取り組みへの批判だろう。特に参議院広島選挙区の再選挙は『2年前の参議院選挙はいついなんだったのか』という県民の思いに、自民党として真摯に対応してこなかったからではないか。自民党の一員として深く反省したい」と述べました。

自民 閣僚経験者「衆院解散は五輪・パラ後ではないか」
自民党の閣僚経験者は、NHK の取材に対し「参議院広島選挙区の再選挙で自民党が敗れたのは、河井元法務大臣の議員辞職などが影響したためだ。新型コロナ対策はこのまま着実に対応して欲しいというのが民意であり、今回の結果を受けて、今すぐ内閣支持率が落ちることはないだろう」と述べました。

一方で、「今回の選挙で敗れ、すぐに衆議院選挙をやる訳にはいかない。まずはワクチンの普及などに取り組まなければならない、衆議院の解散のタイミングは東京オリンピック・パラリンピック後ではないか」と指摘しました。

公明 石井幹事長「政権運営に影響なしとは言えない」
公明党の石井幹事長は、記者団に対し「大変残念であり、結果を真摯（しんし）に受け止めなければいけない。与党として、綱紀粛正に取り組み、政治とカネの問題や、新型コロナウイルス対策などの当面の政治課題を着実に実行し 国民の信頼を回復するために全力で取り組まなければならない。政権運営への影響はなしとは言えないが、広島では、買収事件に対する反発や不信感という要素が思った以上に大きかった」と述べました。

立民 福山幹事長「菅内閣に有権者の極めて厳しい審判」
立憲民主党の福山幹事長は、記者団に対し「3 つの選挙すべてで勝利したことは大変うれしく思っている。この半年あまりの菅内閣に有権者の極めて厳しい審判が下された。特に政治とカネをはじめとする不祥事の数々や、後手後手の新型コロナ対応に国民の不信感が高まったことが、この結果につながった」と述べました。そのうえで「野党が連携して戦うことが一定の評価を受けた。各党とは、来たるべき衆議院選挙でも候補者を一本化した戦いをどう展開していくか、改めて話し合いを始めていきたい」と述べました。

立民 平野選対委員長「候補者一本化が結果につながった」
立憲民主党の平野選挙対策委員長は、NHK の取材に対し「政治とカネの問題や、政府の新型コロナ対応などを争点にした選挙で、国民の審判がはっきり下された。野党共闘による候補者の一本化が、今回の結果につながったと考えており、次の衆議院選挙に向けても大きな結集となるよう取り組んでいきたい」と述べました。維新 馬場幹事長「順当な結果 衆院解散に対応」

日本維新の会の馬場幹事長は、大阪・堺市で記者団に対し、「『勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし』と言うが、まさしく、そうした意味では順当な結果が出たと思う。ただ、きょうの結果が与党に大打撃を与えるかという、決してそうではないと思うので、いつ衆議院が解散になっても対応できるよう、常在戦場のつもりで戦っていく」と述べました。

共産 小池書記局長「明確な審判 衆院選で市民と野党の共闘を」
共産党の小池書記局長は、記者団に対し「『菅内公政権』の発足後、初めての国政選挙で明確な審判が下った。勝利できた意義は極めて大きく、政府・与党は選挙結果を重く受けとめてもらいたい。次の衆議院選挙では、市民と野党の共闘を实らせ、自民公明両党と、その補完勢力を少数に追い込み、政権交代を実現する選挙にしたい」と述べました。

国民 榛葉幹事長「大きな成果 協を締めて衆院選に」
国民民主党の榛葉幹事長は、記者団に対し「大きな成果で、自民党の不祥事や政府のコロナ対策を含めたさまざまな問題への国民の民意が反映された。ただ、野党も支持率がのびておらず諸手をあげて喜ぶことはできない。相手のオウンゴールや『吊い合戦』という特殊事情ではなく、主義主張を通じて政権を担えると国民に思ってもらえるよう、協を締めて衆議院選挙に臨みたい」と述べました。

参院広島選挙区再選挙 立民など推薦の宮口治子氏が初当選 NHK2021年4月26日0時20分



与野党対決の構図となった参議院広島選挙区の再選挙は立憲民主党などが推したフリーアナウンサーの宮口治子氏が、自民党の候補者らを抑えて、初めての当選を果たしました。参議院広島選挙区の再選挙は、立憲民主党、国民民主党、社民党が推薦した宮口治子氏が自民党の西田英範氏らを抑え、初めての当選を果たしました。

宮口氏は、広島県福山市出身の45歳。地元ラジオ局でパーソナリティーを務め、現在はフリーアナウンサーとして活動しています。

今回の再選挙は、おととしの参議院選挙をめぐって公職選挙法違反の罪で有罪が確定した河井案里氏の当選無効に伴って行われ、「政治とカネ」の問題が最大の争点になりました。

特定の政党ではなく、政治団体「結集ひろしま」から立候補した宮口氏は、立憲民主党など野党から幅広く支援を得て、自民党の西田氏との間で、激しい選挙戦を展開しました。

そして、政治とカネの問題に対する県民の姿勢を示さなければ、政治は変わらないと訴えました。

その結果、支援を受けた野党各党の支持層に加え、日本維新の会の支持層や、無党派層などからも幅広く支持を集め初めての当選を果たしました。

広島県選挙管理委員会によりますと、参議院広島選挙区の再選挙の投票率は33.61%で、おととしの選挙と比べて11.06ポイント下回りました。参議院広島選挙区では、過去最低だった平成5年の補欠選挙に次ぐ低い投票率となりました。



宮口治子氏は「まだ少し信じられないような気持ちがある。小さな声をしっかり聞き、ぶれない気持ちを忘れずに、皆様のお役に立てるようしっかり頑張っていきたい。政治家として遠いところに行くのではなく、いつもと変わらないままでがんばっていきたい」と喜びの声を述べました。

自民 岸田前政調会長「力不足を感じ、申し訳ない」

自民党広島県連の会長を務める岸田・前政務調査会長は、広島市内で記者団に対し「力不足を感じ、申し訳ない。政治とカネの問題で県民の怒りがあることを強く感じた。ただ、今回の結果が国政全般に大きな影響を与えることはないと思っている。新型コロナウイルス対策で責任を果たして欲しいという強い思いは感じたので、与党の議員の1人としてなすべき責任を果たしたい」と述べました。

また、「県連を再生させることが県連会長としての私の責任だ。県連の再生が自民党の再生になると信じて、取り組みを進める」と述べました。

一方、記者団から次の総裁選挙への対応を問われたのに対し「今回の広島選挙区の再選挙を総裁選挙と結びつけることを言った覚えはない。総裁選挙は総裁選挙、今回の選挙は今回の選挙だ」と述べました。

参院再選挙 宮口治子氏が初当選

NHK広島04月25日 23時43分

河井案里氏の当選無効に伴う参議院広島選挙区の再選挙は25日投票が行われ、諸派の新人で立憲民主党、国民民主党、社民党が推薦したフリーアナウンサーの宮口治子氏が初めての当選を果たしました。

諸派の新人で立憲民主党、国民民主党、社民党が推薦した宮口氏が自民党の新人で、公明党が推薦した西田氏らを抑え、初めての

当選を果たしました。

宮口氏は、福山市出身の45歳。

地元ラジオ局でパーソナリティーを務めたほか、現在はフリーアナウンサーとして活動しています。

選挙戦では、「政治とカネ」の問題を最大の争点に論戦が展開され、宮口氏は、広島や日本の政治を変えなければこの問題は終わらないと強調するとともに誰もが安心して暮らせる社会の実現などを訴えました。

そして、立憲民主党・国民民主党・社民党の支持層だけでなく、共産党の支持層や支持政党を持たない無党派層などからも支持を集めました。

宮口氏 喜びの声

NHK広島04月25日 22時55分

諸派の新人で立憲民主党、国民民主党、社民党が推薦したフリーアナウンサーの宮口治子氏は、支持者の前で、「まだ少し信じられないような気持ちがある。小さな声をしっかりと聞き、ぶれない気持ちを忘れずに、皆様のお役に立てるようしっかり頑張っていきたい。政治家として遠いところに行くのではなく、いつもと変わらないままでがんばっていきたい」と喜びの声を述べました。

西田氏「私の力不足」

NHK広島04月25日 22時58分

自民党の新人で公明党が推薦した西田英範氏は、支持者の前で「ひとえに私の力不足で、不徳の致すところによりみなさまの期待に応えることができなかった。心よりお詫び申し上げます。今回の再選挙は政治とカネをめぐる事件のもとに行われた選挙で私はこの問題に正面から向き合い、政治の信頼を取り戻すことを訴えたが、私の認識が甘かった。県民の思いに私はもっともっと近づかなければならなかった」と述べました。

結集ひろしま 佐藤代表「心より感謝」

NHK広島04月25日 23時27分

野党各党が参加する政治団体「結集ひろしま」代表の佐藤公治衆議院議員は、「応援していただいた皆さんに心より感謝申し上げます。山が動いたというより、山が崩れ去った状況だと私たちは重く受け止めている。県民の政治への信頼を取り戻すことを考え、これからも、皆さんと一致協力して頑張りたい」と話していました。

自民県連 岸田会長「申し訳ない」

NHK広島04月25日 22時55分

諸派の新人で立憲民主党、国民民主党、社民党が推薦したフリーアナウンサーの宮口治子氏が当選を確実にしたことについて、自民党広島県連の岸田文雄会長は、支持者を前に、「すばらしい候補者に恵まれたにも関わらず勝つことができなかった自民党広島県連の力不足で、みなさんにおわびします。政治とカネの問題をめぐって大変厳しい声にあたったほか、新型コロナウイルスの戦いについても県民の思いにぶつかった。力及ばず申し訳ありませんでした」と述べました。

自民県連 中本会長代理「再起へ頑張りたい」

NHK広島 04月26日 00時04分

自民党広島県連の会長代理を務める中本隆志県議会議長は、取材に対し、「今回の結果は大変残念だ。政治とカネの問題をめぐる有権者に謝りながらの逆風の中の選挙で、結果を受け止めたい。自民党広島県連の再起に向けて頑張っていきたい」とコメントしています。

公明県本部 田川代表「全力支援も残念」

NHK広島 04月26日 00時01分

公明党広島県本部の田川寿一代表は、「与党の候補者として、公明党の候補者と同じ思いで、全力で支援したが、残念ながら、素晴らしい候補者を落選させてしまいました。党员や支持者の皆様には、逆風の中、力強い押し上げをしていただき、心から感謝しています」とコメントしています。

参院再選挙 NHK出口調査の結果は

NHK広島 04月25日 20時04分

NHKが有権者の投票行動や政治意識を探るために行った出口調査では、諸派の新人の宮口さんと、自民党の新人の西田さんが競り合っています。

調査は、県内40の投票所で投票を終えた有権者3622人を対象に行い、74.1%にあたる2685人から回答を得ました。一方、24日までに有権者のおよそ10%が期日前投票を済ませています。これらの方々は調査結果に含まれていません。

この出口調査によりますと、参議院広島選挙区の再選挙は諸派の新人の宮口さんと、自民党の新人の西田さんが競り合っています。諸派の新人の宮口さんは、推薦を受けた▼立憲民主党の支持層の90%あまり▼国民民主党の支持層の70%台後半から支持を固めたほか、▼共産党支持層のおよそ90%、▼無党派層の60%台半ばから支持を得ています。

自民党の新人の西田さんは、▼自民党の支持層の70%あまり、▼公明党の支持層の70%台後半をまとめ▼無党派層の支持は20%あまりとなっています。

出口調査では、投票する際に最も重視したことを尋ねました。

▼「新型コロナウイルスへの対応」が23%、▼「経済・雇用政策」が19%、▼「外交・安全保障政策」が6%▼「社会保障・福祉政策」が9%▼「教育・子育て政策」が9%、▼「憲法改正への対応」が2%、▼「政治とカネをめぐる問題」が23%などとなっています。

衆院北海道2区補選 立憲民主党の松木謙氏が5回目の当選

NHK2021年4月26日 0時41分



自民党が候補者擁立を見送った衆議院北海道2区の補欠選挙は、立憲民主党の元議員、松木謙氏が5回目の当選を果たしました。

衆議院北海道2区の補欠選挙は、開票が終了しました。

▼松木謙公、立憲民主・元。当選。5万9664票。

▼鶴羽佳子、無所属・新。2万7355票。

▼山崎泉、維新・新。2万2459票。

▼長友隆典、無所属・新。1万5738票。

▼齊藤忠行、NHK受信料を支払わない方法を教える党・新。5630票。

▼小林悟、無所属・新。5552票。

衆議院北海道2区の補欠選挙は、立憲民主党の元議員で、共産党道委員会、国民民主党、社民党が推薦する松木氏が5回目の当選を果たしました。

松木氏は札幌市出身の62歳。

平成15年の衆議院選挙で初当選して以降、民主党政権では農林水産政務官などを務めました。

吉川貴盛元農林水産大臣の議員辞職に伴う今回の補欠選挙で自民党が候補者擁立を見送るなか、松木氏は、立憲民主党、共産党、国民民主党、社民党の統一候補として選挙戦を展開しました。

そして、政府の新型コロナ対策では不十分だとして、現金10万円の一律給付を追加で行うなど、対策の強化を訴えました。

その結果、立憲民主党に加え、支援を受けた野党各党の支持層を固めたほか、自民党の支持層や、無党派層からも一定の支持を集め5回目の当選を果たしました。

道選挙管理委員会によりますと、衆議院北海道2区の補欠選挙の投票率は、30.46%でした。



松木謙公氏は「幅広く応援をいただいた。国民のために北海道のために、北海道2区に住むみなさんのために、生活が1ミリでも向上するように頑張りたい」と述べました。

衆院北海道2区補欠選挙 喜びの声と敗戦の弁

NHK北海道 04月25日 21時24分

衆議院北海道2区の補欠選挙で5回目の当選を確実にした立憲民主党の元議員・松木謙公氏は、「幅広く応援をいただいた。国民のために北海道のために、北海道2区に住むみなさんのために生活が1ミリでも向上するように頑張りたい」と述べました。

その上で政府の新型コロナ対策については、「後手後手に回っている。10万円の特別給付金をもう一度行うほか、PCR検査の拡充も行いたい。国会で仲間を作って話を広げていきたい」と述べました。

また、政治と金の問題については、「政治家の権限は自分の小遣いを作るのではなく、国民の生活が向上するよう使うべきだ」と述べました。

【敗戦の弁】

日本維新の会の新人で、元道議会議員の山崎泉氏は、「残念だが、私にとって、この短時間の中で、正々堂々と一生懸命やってきた。足跡は必ずついたと思っているので、次の戦いに生かしていきたい。特定の団体と結びついた政治とカネの問題を解決することによって、行財政改革を進めるということをあすから街頭で訴えていきたい」と述べました。

無所属の新人で、元北海道放送アナウンサーの鶴羽佳子氏は、「素

直に悔しい。勝ちたかった。選挙戦では日に日に、手を振り返してくれる人が増え手応えを感じたが、打ち出す政策を考えるうえで幅広い年代の有権者の声をもっと聞くべきだったと反省している。今回の補選の後、公募があると聞いているのでまずはそこに手を挙げたい。半年以内に次の選挙があることは分かっているので、今までの走りを止めずに加速していきたい」と述べました。無所属の新人で、弁護士の長友隆典氏は、「皆様の期待に応えられなかったことは、すべて私の努力不足、力不足だった。知名度が足りない、それに尽きると思う。雇用の問題、家庭の問題、ほとんどが、北海道の経済状況が厳しいことにつながっている。次、半年以内にあるであろう総選挙に向けて、皆さまの生活を守るために経済政策の重要性をしっかりと訴えていきたい」と述べました。

衆院北海道2区補欠選挙 NHK出口調査を徹底分析

NHK北海道04月25日 21時19分

NHKは投票日の25日、有権者の投票行動や政治意識を探るため、出口調査を行いました。

調査は選挙区内14の投票所で投票を終えた有権者1435人を対象に行い、62.2%にあたる893人から回答を得ました。一方、24日までには有権者のおよそ6%が期日前投票を済ませていますが、これらの方々は調査結果に含まれていません。

【政党支持率】

出口調査では、投票した人にふだん支持している政党について尋ねました。

この結果は、出口調査での政党支持率をあらわします。その支持率は、▽自民党が26%、次いで▽立憲民主党が25%、▽共産党が8%、▽日本維新の会が5%、▽公明党が4%、▽国民民主党が1%、▽新党大地が1%などとなっています。▽特に支持する政党がない、いわゆる無党派層は26%でした。4年前の衆議院選挙でNHKが北海道2区で行った出口調査では、各党の支持率は、▽自民党が最も高く34%、ついで、▽立憲民主党が13%、▽共産党が8%、▽希望の党が6%、▽公明党が5%などでした。

無党派層は26%でした。

今回の政党支持率を4年前の衆議院選挙と比べますと、自民党は支持率が下がりました。

候補を擁立できなかった影響が考えられます。

一方、立憲民主党は、希望の党の流れをくむ国民民主党と合流したこともあり、支持率がほぼ倍になりました。

共産党と公明党の支持率はほぼ変わっていません。

無党派層の割合も変わっていません。

【支持政党別の投票傾向】

今回の選挙で、支持政党別に投票先をみていきます。

立憲民主党の元議員の松木氏は、▼立憲民主党の支持層の80%台後半、▼共産党の支持層の80%余りから支持を集めたほか、▼いわゆる無党派層の30%台半ばから支持を得ました。

また、▼自民党と公明党の支持層の10%台半ば、▼日本維新の会の支持層の10%台後半から支持を得ました。

無所属の新人の鶴羽氏は、▼自民党の支持層のおよそ30%、▼公明党の支持層の40%台半ばから支持を得たほか、▼無党派層の20%台後半、▼日本維新の会の支持層のおよそ10%から支

持を得ました。

日本維新の会の新人の山崎氏は、▼日本維新の会の支持層の60%台半ばから支持を集めたほか、▼自民党と公明党の支持層の10%台後半、▼無党派層の10%台半ばから支持を得ました。無所属の新人の長友氏は、▼自民党の支持層の20%台後半、▼公明党の支持層の10%余り、▼無党派層の10%余りから支持を得ました。

松木氏は、立憲民主党や共産党の支持層を固めたうえで、無党派層からも6人の中で最も多くの支持を得ました。

一方、自民党支持層の投票先は、鶴羽氏、長友氏、山崎氏、松木氏の順となりました。

自民党支持層の投票先は分散していました。

4年前の衆議院選挙の投票傾向を支持政党別にみますと、松木氏は、▼所属していた希望の党支持層の80%余り、▼立憲民主党支持層の40%台後半、▼無党派層の30%余りから支持を得ていました。

4年前の衆議院選挙では、▼共産党支持層の90%余り、▼立憲民主党支持層の40%半ば、▼無党派層のおよそ30%は、共産党の金倉氏に投票したと答えていました。

また、▼無党派層の20%台後半は自民党の吉川氏に投票したと答えていました。

一方、4年前の衆議院選挙では、▼自民党支持層のおよそ80%、▼公明党支持層の70%余りは自民党の吉川氏に投票したと答えていました。

松木氏に投票したと答えたのは、自民党・公明党いずれの支持層でもひと桁でした。

今回、与党側の擁立見送りや野党側の候補者一本化の結果、松木氏は4年前の衆議院選挙と比べて共産党支持層からの支持を大きく増やし、自民党や公明党の支持層でも支持を伸ばしていました。一方、無党派層での支持はわずかに上がった程度でした。

【男女別】

男女別では、▼男性の40%台後半が松木氏に投票しています。▼女性の40%台半ばが松木氏、20%余りが鶴羽氏に投票しています。

4年前の衆議院選挙では、松木氏は、▼男性の20%台後半、▼女性のおよそ30%が投票したと答えていました。

男女とも、投票先として最も多かったのは、自民党の吉川氏でした。

今回、松木氏は男女いずれも支持を伸ばしました。

【年代別】

出口調査に回答した人の年代別で見ますと、▼10代と20代の30%余りが松木氏に投票しています。

▼30代の20%台半ばが松木氏、20%台半ばが鶴羽氏に投票しています。

▼40代の30%台後半が松木氏、およそ20%が鶴羽氏に投票しています。

▼50代の30%台半ばが松木氏、20%台後半が鶴羽氏に投票しています。

▼60代の50%台半ばが松木氏に投票しています。

▼70歳以上の50%台後半が松木氏に投票しています。

松木氏は、すべての年代で最も支持を集めた中で、60代、70

歳以上では過半数の支持を得ていました。

4年前の衆議院選挙では、各年代の得票トップは自民党の吉川氏でした。

得票2位は、▼10代・20代から50代までは松木氏、▼60代と70代以上では共産党の金倉氏でした。

松木氏は最も多かった50代でも支持は30%余りでした。

今回、松木氏は、10代・20代、40代、60代、70歳以上で支持を伸ばしていました。

【前回投票先別】

出口調査では、4年前の衆議院選挙での投票先についても尋ねました。

4年前、自民党の吉川氏に投票したと答えた人のうち、▼20%台後半が鶴羽氏、▼20%台半ばが長友氏、▼それぞれ10%台後半が松木氏と山崎氏に投票したと答えました。

一方、4年前、当時、希望の党の公認候補だった松木氏に投票したと答えた人のうち70%台後半が松木氏に投票したと答えました。

また、4年前、共産党の金倉氏に投票したと答えた人のうち70%余りが松木氏に投票したと答えています。

松木氏は、4年前、みずからに投票した層、共産党の金倉氏に投票した層を固めたうえで、吉川氏に投票した層からも一定の支持を得ていました。

【投票で重視】

出口調査では、投票する際に最も重視したことについて、7つの具体的な選択肢をあげて尋ねました。

このうち、▽「新型コロナウイルスへの対応」が31%と最も多く、次いで、▽「経済・雇用政策」が18%、▽「社会保障・福祉政策」が13%、▽「政治とカネをめぐる問題」が11%となっています。

また、▽「教育・子育て政策」が9%、▽「外交・安全保障政策」が4%、▽「憲法改正への対応」が2%でした。

「新型コロナウイルスへの対応」を最も重視した人のうち、▼40%台後半が松木氏に、▼10%台後半が鶴羽氏に投票したと答えました。

一方、「経済・雇用対策」を最も重視した人のうち、▼40%余りが松木氏に、▼それぞれ10%台後半が鶴羽氏と山崎氏に、また、▼10%台半ばが長友氏に投票したと答えました。

さらに、「社会保障・福祉政策」を最も重視した人のうち、▼およそ60%が松木氏に、▼10%台半ばが鶴羽氏に投票したと答えました。

また、「政治とカネをめぐる問題」を最も重視した人のうち、▼60%余りが松木氏に、▼それぞれ10%余りが山崎氏と鶴羽氏に投票したと答えました。

このほかの設定の結果です。

【菅内閣の支持】

出口調査では菅内閣について尋ねました。

結果は、▽「支持する」が42%、▽「支持しない」が58%でした。

松木氏は、「支持しない」と答えた層のおよそ60%から票を得ていました。

一方、「支持する」と答えた層では、投票先は、▼鶴羽氏と松木

氏が20%台後半、▼長友氏と山崎氏が10%台後半でした。

【新型コロナ対策】

出口調査では、政府の新型コロナウイルス対策について4段階の選択肢で尋ねました。

結果は、▽「大いに評価する」が7%、▽「ある程度評価する」が31%、▽「あまり評価しない」が39%、▽「全く評価しない」が23%でした。

「大いに」と「ある程度」を足し合わせた「評価する」層、「あまり」と「全く」を足し合わせた「評価しない」層の投票先をみてみます。

「評価しない」層では、50%台半ばが松木氏に投票したと答えていました。

一方、「評価する」層では、▼松木氏が30%台半ば、▼鶴羽氏が20%台半ば、▼山崎氏は10%台後半、▼長友氏は10%台半ばでした。

【吉川元農相事件】

出口調査では、吉川元農林水産大臣の収賄事件について4段階の選択肢で尋ねました。

結果は、▽「大いに考慮した」が34%、▽「ある程度考慮した」が27%、▽「あまり考慮していない」が21%、▽「全く考慮していない」が18%でした。

「大いに」と「ある程度」を足し合わせた「考慮した」層、「あまり」と「全く」を足し合わせた「考慮していない」層の投票先をみてみます。

「考慮した」層では、▼松木氏が50%余り、▼鶴羽氏が10%台後半、▼山崎氏が10%余り、▼長友氏がおよそ10%でした。

「考慮していない」層では、▼松木氏が30%台後半、▼鶴羽氏が20%余り、▼長友氏が10%台半ば、▼山崎氏が10%余りでした。

参院長野選挙区補選 立憲民主党の羽田次郎氏が初当選

NHK2021年4月26日0時51分



与野党対決の構図となった参議院長野選挙区の補欠選挙は立憲民主党の羽田次郎氏が、自民党の候補者を抑えて初めての当選を果たしました。

参議院長野選挙区の補欠選挙は開票が終了しました。

▼羽田次郎、立憲民主・新。当選。41万5781票。

▼小松裕、自民・新。32万5826票。

▼神谷幸太郎、NHK 受信料を支払わない方法を教える党・新。1万7559票。

参議院長野選挙区は、立憲民主党の新人で、共産党、国民民主党、社民党が推薦する羽田次郎氏が自民党の新人で、公明党の推薦を受けた小松氏を抑えて初めての当選を果たしました。

羽田氏は51歳。

父親の羽田孜 元総理大臣の秘書を経て現在はコンサルティング会社の役員です。

羽田雄一郎 元国土交通大臣が新型コロナウイルスに感染して亡

なくなったことに伴う今回の補欠選挙で、議席を維持したい立憲民主党は、弟の次郎氏を擁立しました。

そして、県内での高い知名度を背景に、ほかの野党の支援も受けて、選挙戦を展開しました。

その結果、立憲民主党に加え、支援を受けた野党各党の支持層を固めたほか、無党派層からも幅広く支持を集め初めての当選を果たしました。



羽田次郎氏は、「兄が残した4年あまりの任期を受け継ぐことが決まった。新型コロナウイルスの影響でどうやって生活しようかと心を悩ませている方が多くいるので、1日も早くコロナを収束させなければならない。経済を1日も早く再生させ、この国難を乗り越えるために政府と国会は丸一丸となって取り組まなければならない。また、子どもたちの目線で政策を立案し何よりも平和な国を残していくという兄の思いを実現していく」と話していました。

長野県選挙管理委員会によりますと、今回の参議院長野選挙区の補欠選挙の投票率は44.40%で、おとしの参議院選挙を9.89ポイント下回りました。

昭和23年の補欠選挙の44.87%を下回り、参議院選挙としては過去最低となりました。

参議院長野選挙区補選 立憲民主党の羽田次郎氏が初当選

NHK長野04月26日 00時47分



与野党対決の構図となった参議院長野選挙区の補欠選挙は、立憲民主党の羽田次郎氏が自民党の候補者を抑えて初めての当選を果たしました。

参議院長野選挙区の補欠選挙は開票が終了しました。

羽田次郎、立憲民主・新、当選、41万5781票

小松裕、自民・新、32万5826票

神谷幸太郎、NHK受信料を支払わない方法を教える党・新、1万7559票

立憲民主党の新人で、共産党、国民民主党、社民党が推薦する羽田次郎氏が、自民党の新人で、公明党の推薦を受けた小松氏を抑えて初めての当選を果たしました。

羽田氏は51歳。

父親の羽田孜元総理大臣の秘書を経て現在はコンサルティング会社の役員です。

羽田雄一郎・元国土交通大臣が新型コロナウイルスに感染して亡くなったことに伴う今回の補欠選挙で、議席を維持したい立憲民主党は、弟の次郎氏を擁立しました。

そして、県内での高い知名度を背景に、ほかの野党の支援も受けて、選挙戦を展開しました。

その結果、立憲民主党に加え、支援を受けた野党各党の支持層を

固めたほか、無党派層からも幅広く支持を集め初めての当選を果たしました。

羽田次郎氏は「兄が残した4年あまりの任期を受け継ぐことが決まった。新型コロナウイルスの影響でどうやって生活しようかと心を悩ませている方が大勢おり、1日も早くコロナを収束させなければならない。経済を1日も早く再生させ、この国難を乗り越えるために、政府と国会は丸一丸となって取り組まなければならない。また、子どもたちの目線で政策を立案し何よりも平和な国を残していくという兄の思いを実現していく」と話していました。小松裕氏は「このような結果になり申し訳ない。結果がすべてなので、長野の議席を取り戻すことができなかったことは、すべて私の責任だ。一緒に戦ってくれた皆様に感謝申し上げ、お礼とおわびの挨拶とさせていただきます」と述べました。

参議院長野選挙区補選 出口調査の結果

NHK長野04月25日 20時25分

NHKは25日、有権者の投票行動や政治意識を探るため、出口調査を行いました。

調査は県内32の投票所で投票を終えた有権者3187人を対象に行い、73.1%にあたる2330人から回答を得ました。一方、県内では24日までに有権者のおよそ17%が期日前投票を済ませています。これらの方々は調査の対象にはなっていません。

参議院長野選挙区の補欠選挙では、立憲民主党の新人の羽田さんが優勢です。

【支持政党】

出口調査では、投票した人にふだん支持している政党について尋ねました。

▼自民党が最も多く37%、次いで▼立憲民主党が22%、▼公明党が3%、▼日本維新の会が1%、▼共産党が6%、▼国民民主党が1%、▼社民党が1%、▼特に支持している政党がないいわゆる「無党派層」は27%でした。

立憲民主党の新人の羽田さんは、▼立憲民主党の支持層の90%台半ば、▼共産党の支持層の80%台後半、▼国民民主党の支持層の80%台後半、▼社民党の支持層の80%台半ば、▼また、特に支持する政党がないいわゆる無党派層の60%あまりから支持を得ました。

自民党の新人の小松さんは、▼自民党の支持層の70%台後半、▼公明党の支持層の80%台後半、▼無党派層の30%台半ばから支持を得ました。

【年代別】

▼10代と20代の50%台半ばが自民党の新人の小松さん、40%あまりが立憲民主党の新人の羽田さんに投票しています。

▼30代の50%あまりが小松さん、およそ40%が羽田さんに投票しています。

▼40代の50%台半ばが羽田さん、40%あまりが小松さんに投票しています。

▼50代の50%台半ばが羽田さん、40%あまりが小松さんに投票しています。

▼60代の50%台後半が羽田さん、およそ40%が小松さんに投票しています。

▼70歳以上の60%あまりが羽田さん、30%台後半が小松さんに投票しています。

【男女別】

▼男性の50%台半ばが立憲民主党の新人の羽田さん、40%台半ばが自民党の新人の小松さんに投票しています。

▼女性の50%台後半が羽田さん、およそ40%が小松さんに投票しています。

【菅内閣への支持】

出口調査では、菅内閣について尋ねました。

▼「支持する」が51%、▼「支持しない」が49%でした。菅内閣を▼「支持する」と答えた人のうち、▽60%台半ばが小松さん、一方、▽30%あまりは羽田さんに投票しました。

▼「支持しない」と答えた人のうち、▽羽田さんは70%台後半、▽小松さんに投票したのは10%台後半でした。

【コロナ対策への評価】

出口調査では、政府の新型コロナウイルス対策への評価を尋ねました。

▼「大いに評価する」が6%、▼「ある程度評価する」が38%、▼「あまり評価しない」が39%、▼「全く評価しない」が17%でした。

政府の新型コロナウイルス対策を、▼「大いに評価する」と答えた人のうち、▽小松さんが60%台半ば、▽羽田さんが30%台半ばでした。

▼「ある程度評価する」と答えた人では、▽小松さんがおよそ60%、▽羽田さんが30%台後半でした。

▼「あまり評価しない」と答えた人では、▽羽田さんが60%台後半、▽小松さんはおよそ30%でした。

▼「全く評価しない」と答えた人では、▽羽田さんが70%台後半、▽小松さんは10%台後半でした。

【投票で重視したこと】

投票する際に最も重視したことについて尋ねました。

▼「新型コロナウイルスへの対応」が39%、▼「経済・雇用政策」が19%、▼「外交・安全保障政策」が5%、▼「社会保障・福祉政策」が9%、▼「教育・子育て政策」が8%、▼「憲法改正への対応」が2%、▼「政治とカネをめぐる問題」が8%、▼「その他」が10%でした。

【世襲への評価】

国会議員などのいわゆる「世襲」について尋ねました。

▼「弊害がある」が68%、▼「弊害はない」が32%でした。一方、投票先で見ると、▼「弊害がある」と答えた人のうち、▽50%台半ばが羽田さん、▽40%あまりが小松さんでした。

▼「弊害はない」とした人も、▽50%台半ばが羽田さん、▽40%あまりが小松さんでした。

【前回参院選の投票先】

出口調査では、おととしの参議院選挙の長野選挙区で投票した先について尋ねました。

▼前回、羽田雄一郎さんに投票した人のうち、▽今回、羽田さんに投票した人は80%台半ばでした。

▼前回、小松さんに投票した人は、▽今回、90%台半ばが小松さんに投票したと答えました。

▼前回、投票していない人は、▽今回、およそ50%が小松さん

に、▽40%台半ばが羽田さんに投票したと答えました。

【期日前投票出口調査】

今回の参議院長野選挙区の補欠選挙では、24日までに有権者のおよそ17%にあたる29万2203人が期日前投票を行いました。

NHKが選挙期間中の7日間、10か所の投票所で投票を済ませた有権者5014人を対象に行った調査でも、羽田氏が小松氏を上回りました。

参院補選 羽田氏が当選確実 喜びの声と敗戦の弁

NHK長野 04月25日 22時15分

与野党対決の構図となった参議院長野選挙区の補欠選挙は、立憲民主党の新人で、共産党、国民民主党、社民党が推薦する羽田次郎氏が、自民党の新人で、公明党の推薦を受けた小松裕氏を抑えて初めての当選を確実にしました。

羽田次郎氏は「兄の思いを引き継ぐという部分が有権者の理解をいただけたのではないかな。新型コロナで亡くなった人の遺族の思いを私自身実感しているし、無念さがあるので誰よりも覚悟を持って対策を実現していきたい。検査態勢の拡充や病床数の増加、医療従事者のリスクに比例した給付などをしなければいけない」と述べました。

そのうえで「おとしは兄も同じ選挙の枠組みで与党に勝ち、今回、私も勝つことができました。これが自民政権に対処するために必要な野党の体制だと思う。兄と同じようにさまざまな支援組織などの話を聞く役目をしていきたい」と話しました。

小松裕氏は「前回の参議院選挙と違って、いい感触はあった。勝てなかったのは、どこに原因があったのか考えていかなければいけない」と述べました。

そのうえで、自民党の不祥事が相次いだことが影響したと思うかと問われると、「私が政策をしっかりとか多くの人たちに伝えられなかったことが敗因ではないか。自民党も信頼されなければという思いを伝えてきたが、どれくらい多くの人に伝わったのか、伝わらなかったのか、反省すべきだと思う」と話していました。

衆参3選挙で自民全敗 政権半年への厳しい審判

毎日新聞 2021/4/26 東京朝刊

菅義偉政権の半年に対する厳しい審判だ。首相は結果を重く受け止めなければならない。

内閣発足後初の国政選挙となった衆参3選挙で、自民党が候補を立てなかった衆院北海道2区補選を含めて全敗した。

与党が補選・再選挙で1勝もできないのは異例の事態だ。とりわけ保守地盤である広島参院再選挙で、敗れた打撃は大きい。

買収事件で有罪が確定した河井案里元議員の当選無効に伴う再選挙だった。「政治とカネ」の問題が最大の争点となった。

しかし、自民党の二階俊博幹事長は事件を「他山の石」と評し、首相も選挙応援に入らなかった。政治不信の払拭（ふっしょく）に取り組む姿勢が全く見えなかった。

全敗は何より、半年間の政権運営が招いた結果である。

まず、新型コロナウイルス対策だ。対応が再三後手に回り、3回目となる緊急事態宣言の発令に追い込まれた。感染対策の「切り札」と位置づけるワクチンも、海外からの調達に手間取り、国

民にいつ行き渡るのか見通せていない。

日本学術会議の会員候補6人を任命しなかった問題は、拒否の理由を説明せず、全く解決していない。放送事業会社に勤める長男が総務省幹部を接待した問題についても、「長男は別人格」とかわし、真相解明に向けて消極的な態度を貫いた。

首相は「当たり前の政治」を掲げ、国民目線の政策をアピールしてきた。しかし、実際の政権運営は、国民感覚からかけ離れたものだった。

この半年間で浮かび上がったのは、国民と向き合わずに、説明に意を尽くさない独善的な首相の政治姿勢である。

衆院議員の任期満了まで半年を切った。今回の全敗を受けて、自民党内で「菅首相で総選挙が戦えるのか」との声が強まる可能性がある。

ただし、今は、コロナの感染爆発を抑えられるかどうかの瀬戸際である。衆院解散をちらつかせたり、政権延命を画策したりするような状況ではない。

首相はまず喫緊の課題であるコロナの収束に全力で取り組み、有権者の不安や不信に応える責任がある。

一枚岩になれなかった「河村包囲網」 リコール不正、判断割れる

毎日新聞 2021/4/25 22:08(最終更新 4/25 22:08) 598 文字



名古屋市役所本庁舎＝名古屋市中区で、駒木智一撮影

毎日新聞社など7社は25日、名古屋市長選の出口調査を市内各区の投票所で実施した。河村たかし氏は自民党支持層の54%、立憲民主党支持層の48%を固め、主要政党がそろって横井利明氏を支援した「河村包囲網」は一枚岩ではなかったことがうかがえた。

河村氏は、自身が率いる地域政党「減税日本」の100%の支持に加え、無党派層からも54%の支持を得た。日本維新の会支持層の7割の支持も集めた。一方で、公明党支持層は17%、共産党支持層は22%にとどまった。横井氏は、公明党支持層の8割から支持を集めたが、出身政党の自民党支持層が44%で河村氏を下回る結果となった。

主要争点ごとに見ると、河村氏が「応援団」を自任していた大村秀章・愛知県知事のリコールを巡る署名偽造事件について「考慮した」と回答した人は51%で、「考慮しなかった」と回答した47%を上回った。それでも「考慮した」と答えた人の41%が河村氏を支持。「考慮しなかった」人は67%が支持した。横井氏は「考慮した」と答えた人の57%の支持を得た。

また4期目を目指した河村氏の多選については「問題ではない」と回答した人が50%に上り、「問題だ」は31%にとどまった。「問題だ」と答えた人のうち74%が横井氏に投票した。

出口調査は市内48カ所の投票所で無作為に抽出して行い、投票を終えた有権者2451人が回答した。【佐久間一輝、田口雅士、道永竜命】

名古屋市長選 現職の河村たかし氏が当選 4期目へ

NHK2021年4月26日0時32分



名古屋市長選挙は、4期目を目指した、現職の河村たかし氏が当選を果たしました。

名古屋市長選挙の結果です。

▼河村たかし、無所属・現。当選。39万8656票。

▼横井利明、無所属・新。35万711票。

▼太田敏光、無所属・新。1万3804票。

▼押越清悦、無所属・新。8162票。

4期目を目指した、現職の河村氏が、当選を果たしました。

河村氏は72歳。

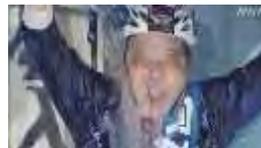
衆議院議員を務めたあと、平成21年の名古屋市長選挙に立候補して初当選しました。

これまでに、対立してきた市議会の解散の賛否を問う住民投票にあわせて行われた出直し市長選挙も含めると、4回続けて当選しています。今回は、新型コロナウイルス対策で、名古屋市が、「まん延防止等重点措置」の対象地域になる中で行われ、河村氏と、自民党や立憲民主党など4党が推薦した横井氏による事実上の一騎打ちとなりました。

河村氏は、今回が最後の市長選挙だと明言して臨み、新型コロナウイルス対策に引き続き取り組む一方で、地域経済の活性化策なども打ち出しました。

また、愛知県知事のリコール署名で起きた偽造問題をめぐっては、署名の偽造への関与を否定し、真相究明を行う考えを強調しました。

そして、与野党双方の支持層に加え、無党派層からも幅広く支持を集め、当選を果たしました。



河村たかし氏は「本当に零細企業の息子を育ててくれた名古屋の皆さん、ありがとう。リコールについては悪かったと思う。でも市民の皆さんは、ちゃんと誠実に嘘を言わずに続ければ、市民の皆さんはわかってくれると思った。名古屋の新型コロナの対策は、人口比では、患者が少ない。保健所の努力で抑えこんできた。名古屋のコロナ対策は日本一だ。これからワクチンもしっかり進めていく」と述べました。

投票率は42.12%で前回4年前の選挙と比べ、5.22ポイント高くなりました。

沖縄・うるま市長に政権支援新人 玉城デニー知事の勢力破る

東京新聞 2021年4月26日00時58分 (共同通信)

任期満了に伴う沖縄県うるま市長選が25日投票開票され、元市議中村正人氏(56)＝自民、公明推薦＝が、沖縄国際大名誉教授照屋寛之氏(68)＝立民、共産、社民、沖縄社大推薦＝を破り、初当選を果たした。中村氏を推す菅政権に対し、玉城デニー知事を支える勢力「オール沖縄」は照屋氏を支援。玉城氏の出身

地で新人同士の対決を制した政権は、来年に予定される名護市長選や知事選に向け弾みをつけた。

玉城氏は、照屋氏の敗北について「私の力不足だ」と話した。

同様の構図となった今年の県内市長選では、1月の宮古島でオール沖縄側の新人が初当選し、2月の浦添は政権が推した現職が3選した。

うるま市長選、与党系新人・中村氏当選 「オール沖縄」候補破る

毎日新聞 2021/4/26 00:30(最終更新 4/26 00:30) 648 文字



沖縄県うるま市長選の開票作業を進める市職員＝

うるま市の具志川ドームで2021年4月25日午後9時17分、遠藤孝康撮影

任期満了に伴う沖縄県うるま市長選は25日投開票され、政府・与党が推す無所属新人で元市議の中村正人氏(56)＝自民、公明推薦＝が、玉城(たまき)デニー知事を支える「オール沖縄」勢力が擁立した無所属新人で沖縄国際大名誉教授の照屋寛之氏(68)＝立憲、共産、社民、地域政党・沖縄社会大衆推薦＝を破って、初当選を確実にした。投票率は55・49%。

うるま市長選は2022年秋の知事選の前哨戦と位置づけられ、1月の宮古島、2月の浦添の両市長選に続き、米軍普天間飛行場(宜野湾市)の名護市辺野古への県内移設を巡って対立する政府・与党と「オール沖縄」勢力が争う構図となった。宮古島は「オール沖縄」が推す新人が現職を破り、浦添は政府・与党が推す現職が3選した。うるまの中村氏の勝利で政府・与党は2勝1敗と勝ち越し、知事選での県政奪還へ弾みがつく結果となった。

中村氏は病気療養のため退任する島袋俊夫市長(68)の後継として出馬し、「新型コロナウイルスのまん延で多くの業種の皆様が悲鳴を上げている。国、県と連携して市民の命と暮らしを守っていく」と訴えた。自民、公明のほか、県議会の赤嶺昇議長ら県議3人が所属する県政与党会派「おきなわ」の支援も受け、支持を広げた。

一方、照屋氏は新型コロナウイルス対策や市長給与50%カットなどの政策を強調。うるま市出身の玉城知事も繰り返し応援に入って支援したが、思うように支持が広がらなかった。

主な争点は地域振興策や新型コロナウイルス対策などだった。

【竹内望、喜屋武真之介】

安倍前首相、動き活発化 「再々登板視野」臆測も

時事通信 2021年04月25日07時17分



自民党の保守団結の会であいさつする安倍晋三前首相(中央)＝22日、参院議員会館

自民党の安倍晋三前首相が動きを活発化させている。同党の保守系グループや議員連盟の役員に相次いで就任。首相在任中に果たせなかった憲法改正への熱意を公の場で訴えている。党内では「再々登板が視野にあるのでは」との臆測も出ている。

「新しい薬が大変よく効き、あと2回ぐらい点滴をすれば一応

治療が終わる」。安倍氏は22日に東京都内で開かれた憲法に関するシンポジウムで、首相辞任の引き金となった潰瘍性大腸炎の治療についてこう報告した。

安倍氏は「桜を見る会」前夜祭の問題を受け、首相辞任後しばらくは目立った活動を控えていた。しかし今月、自民保守系議員でつくる二つの議連に顔を出し、それぞれ顧問に就任。22日の議連会合では「保守政党として、日本を日本たらしめるものに、常に思いをはせながら取り組んでほしい」と呼び掛けた。

宿願の憲法改正では、党憲法改正推進本部の最高顧問に就任し、同本部内から「挙党体制で推進できる」(幹部)と期待の声が出ている。安倍氏は22日のシンポジウムで、立憲民主党の枝野幸男代表が安倍政権の間は議論に応じない方針だったことを引き合いに「もう首相じゃないから議論しろよと思う」と批判してみせた。

自民内には、安倍氏の3度目の首相登板を待ち望む声もあり、ベテラン議員は「あり得る話だ」と語る。

注目されるのは出身派閥である細田派への復帰のタイミングだ。派内には衆院選前の会長就任を求める声もある。一方、同派幹部は、桜を見る会をめぐる事件で元公設第1秘書への東京地検の再捜査を踏まえ、「捜査が終わるまでは難しい」とみている。

安倍氏の退陣後、長年暗礁に乗り上げていた国民投票法改正案の国会審議は動きだした。このため、「野党が再び反発しかねない。もうしばらく静かにしてほしい」(自民中堅)と自重を求める声もある。

安倍前首相、引く手あまた 細田派から講演・対談依頼相次ぐポスト菅レースに利用?

毎日新聞 2021/4/23 東京朝刊

安倍晋三前首相と自民党細田派議員との関係



安倍晋三前首相と自民党細田派議員との関係

退陣から7カ月が経過し、安倍晋三前首相の動きが目立っている。出身派閥の自民党細田派の議員から講演や対談などの依頼が相次ぎ、引く手あまたの状態だ。菅義偉首相が新型コロナウイルス対策に追われる中で、安倍氏は存在感を取り戻している。

安倍氏は22日、自身に近い細田派の高鳥修一前筆頭副幹事長に頼まれ、顧問を務める保守グループ「保守団結の会」が開いた国会内の会合で講演した。「若手の皆さんには特別な使命がある。保守政党の一員として『日本を日本たらしめているものは何か』と思いをはせながら行動してもらいたい」と訴えた。3月にも高鳥氏が所属する党新潟県連のセミナーに招かれるなど「頼まれ仕事」をこなしている。

安倍氏は2020年9月、持病の潰瘍性大腸炎が悪化して首相を辞任。同年12月には、安倍氏後援会が主催した「桜を見る会」

前夜祭の費用補填（ほてん）問題を巡って、公設第1秘書が政治資金規正法違反（不記載）で略式起訴され、自身も首相在任時の答弁について国会で訂正に追い込まれた。これを受けて、しばらく表立った活動を控えていた。
残り 842 文字（全文 1301 文字）

「総裁選前の衆院解散考える」 首相発言、時期巡り臆測 2021/4/23 22:32 (JST)4/23 22:49 (JST)updated 共同通信社

菅義偉首相は23日夜の記者会見で、9月30日の自民党総裁の任期満了を踏まえ「総裁としての任期の中で機会を見て衆院解散・総選挙を考えないといけない」と述べた。10月21日には衆院議員の任期満了を迎えるため、衆院選のタイミングに臆測が広がりそうだ。

首相は会見で、首脳会談を終えたばかりのバイデン米大統領と長く付き合うため、総裁選に立候補する意思があるかどうかを問われ、質問にはなかった解散・総選挙に自ら触れた。同時に「新型コロナウイルスの感染拡大防止が最優先」と繰り返した。

首相は今日6日にも総裁選に先立つ解散の可能性に言及した。自民党ベテランは「無派閥で党内基盤の弱い首相だが『解散政局の主導権は誰にも渡さない』との心の表れではないか」との見方を示した。

最前線は日本に 日米首脳会談の歴史的な重要性が意味すること 【コメントライナー】

時事通信 2021年04月25日09時00分



日米首脳会談後にホワイトハウスのローズガーデンで共同記者会見する菅義偉首相（左）とバイデン米大統領＝2021年4月16日、米ワシントン【AFP時事】

◆ 笹川平和財団上席研究員・渡部 恒雄 ◆

バイデン米大統領が初の対面の首脳会談に、日本の菅義偉首相を迎えたことは、やや大げさに聞こえるかもしれないが、国際関係の歴史的な転換点を示したものだといえるだろう。

それは、第2次世界大戦、米ソ冷戦、冷戦終結後の超大国・米国の一人勝ち、そしてアフガニスタンとイラクでの「長い戦争」の後に来る「米中のグローバルな競争時代」を反映した会談だったからだ。

◆ 戦略的関心が変化

日米首脳会談と同時進行で、バイデン政権はアフガニスタン駐留米軍の撤退を進めているが、これは米国の戦略的関心が、米国をターゲットにした国際テロの脅威の策源地である中東・アフガニスタンから、中国に対抗するためのインド・太平洋地域に変化したことを意味している。

米ソ冷戦時の最前線はドイツであり、最も期待する同盟国は英国と北大西洋条約機構（NATO）諸国だった。当時の日本は、ソ連の潜水艦作戦に対抗する自衛隊の活動などが評価され、それにより日本への信頼は高まった。

ただ、少なくとも国際舞台では、日本はあくまでも欧州戦線の側面支援としての存在であり、1972年のニクソン米大統領（当時）の訪中以降、中国は米国の協力国だった。

しかし、バイデン政権がトランプ前政権から対中対抗の姿勢を引き継ぎ、長期的な米中対立の構図が明確となってきた。

日本は、かつての冷戦期の西ドイツのような最前線に位置する国家となり、かつての英独仏のような同盟国としての役割が期待されている。

◆ 米ソ冷戦との大きな違い

しかも、米中対抗関係は、米国が中国に対して、封じ込め策を取らない（取れない）ことが、米ソ冷戦とは大きく異なる。それは、中国経済との関係が深い日本に、複雑な戦略を要求するものだ。

米国が中国を封じ込めることができない理由は、米国を含む世界が中国と経済的に強く結びついているからで、無理にデカップリング（切り離し）を図ることは、米国や同盟国にとって、経済的にも政治的にもダメージが大きく、効果的ではないからだ。

だからといって米国は、競争相手の中国が、米国を凌駕（りょうりや）しかねない最新の通信・軍事技術や経済の優位性を手に入れることを、放置することはできない。

日本にとっても、尖閣諸島沖の中国の行動が示すように、既存のルールを守らずに強権的に動く中国は脅威となる。ましてや、わが国が防衛を依存している同盟国の米国と中国の軍事バランスが、中国の優位に傾くことは、日本の生存や自立に危機をもたらすことになる。

一方、今後、経済成長のピークを迎える中国を、対外的・内部的にソフトランディングさせるため、また日本の経済力を維持するためにも、中国との経済関係を完全に切り離すことは非現実で戦略的ではない。

だとすれば、日本は米国や「クアッド」（日米豪印4カ国）のパートナーとともに、安全保障と経済の適正なバランスを取るため政策協議を行うしかない。

日本政府はこれまで、こうした問題について後手に回ってきた。今回の日米首脳会談は待ったなしのウェイクアップコール（警鐘）となったのである。

（時事通信社「コメントライナー」2021年4月21日号より）

【筆者紹介】

渡部 恒雄（わたなべ・つねお） 東北大学歯学部卒業、米ニュースクール大学で政治学修士課程修了。1995年から10年間、ワシントンの戦略国際問題研究所（CSIS）でアジア安全保障や日米関係を研究。帰国後、三井物産戦略研究所主任研究員、東京財団上席研究員を経て、17年10月より現職。著書に「二〇二五年米中逆転」「いまのアメリカがわかる本・最新版」など。

基地周辺の土地規制法案が近く審議入り 対象区域は成立後私権制限の懸念も

東京新聞 2021年4月25日06時00分

自衛隊・米軍の基地周辺や国境離島の土地利用を規制する法案が近く国会で審議入りする。政府・与党は安全保障上、重要な土地を外国資本などに押さえられ、日本の防衛を妨害される事態を防ぐ必要があるとして、今国会で成立を目指す。だが、規制対象となる区域や妨害行為など具体的な運用方針は法案に盛り込まれず、成立後に政府が決めるため、過度な私権制限など乱用を心配する声が上がっている。（新開浩）

法案は、防衛関連施設や海上保安庁の施設、原発などの周囲約1キロや国境離島を、国が「注視区域」に指定できると明記。区域内では、土地所有者の国籍などを調べるため、住民基本台帳などの提供を自治体に求める権限を認める。

電波妨害などの可能性が高いと判断すれば、中止の勧告や命令を出し、応じない場合は懲役2年または罰金200万円の罰則を科す。所有者が要請すれば、国は土地を時価で買い取る。

司令部やミサイル迎撃拠点の周辺、領海の基点となる無人国境離島などは、特に重要な「特別注視区域」に指定。面積が200平方メートル以上の土地売買には、氏名や国籍、利用目的などの事前届け出を義務付ける。

対象となる施設や離島、妨害行為の内容、調査項目などの詳細は、法成立後に閣議決定する基本方針で定める。条文には、区域を指定する際、経済に配慮すると明記されているが、内閣官房の担当者は本紙の取材に「市街地を外すわけではない。経済と防衛のバランスを精査して判断する」と述べ、線引きは曖昧だ。

国会では法案の審議入り前から不透明な内容を疑問視する追及が相次ぐ。元防衛副大臣で立憲民主党の渡辺周氏は、防衛省など都心の施設の周囲に市街地が広がる現状を踏まえ「経済に配慮しすぎたら、法の目的が達成できない。抽象的な部分を詰めなければ、法案の是非を判断しかねる」と指摘した。

立民の^{やとむら}屋良朝博氏は、地元・沖縄の米軍基地周辺で、民間地が規制対象となる懸念が広がっていると説明。「中身を明確に示さずに国会に提出するのは審議を軽んじている」と批判した。

◆基地機能の「阻害行為」を拡大解釈の恐れ
自衛隊・米軍の基地周辺や国境離島の土地利用を規制する法案を巡っては、政府が土地所有者らに中止勧告、命令できる基地の「機能を阻害する行為」の定義がはっきりしない。拡大解釈されて経済活動などが不当に制限される恐れを指摘する意見もある。

米海軍横須賀基地（神奈川県）の問題に詳しい^{ごとう}呉東正彦弁護士は、条文に記された「機能を阻害する行為」について「どうしても解釈でき、何でも入ってしまう問題がある。阻害行為は誰がどう判断するのか」と疑問を投げかける。拡大解釈の例として、基地を見下ろせる隣接地のタワーマンションを購入できる人が、国籍や思想信条によって選別される可能性を挙げる。

呉東氏は、阻害行為の詳細が法成立後に決定されることに関しても「法律を作ってから重要なことを決めるのは法治主義に反する」と問題視する。

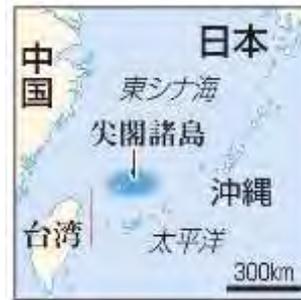
台湾海峡有事の法運用を本格検討 政府、対中配慮で慎重判断 東京新聞 2021年4月24日 19時02分（共同通信）

各事態と自衛隊の役割	
重要影響事態	米軍などへの 後方支援
存立危機事態	米艦の防護など (集団的自衛権を) 行使
武力攻撃事態	日本防衛のため 必要最小限度の 武力行使

各事態と自衛隊の役割

政府は、台湾海峡有事が発生した際の自衛隊活動に関わる法運用の本格的な検討に入った。菅義偉首相とバイデン米大統領による首脳会談で台湾情勢が主要議題となった。安全保障関連法に基づく「重要影響事態」や「存立危機事態」、日本が直接攻撃される「武力攻撃事態」に該当するそれぞれの状況や、自衛隊の役割を整理。必要な防衛力の強化を図る。実際の適用は中国に配慮し、慎重に判断する方針。複数の政府関係者が24日、明らかにした。

台湾有事の自衛隊活動に関しては、米軍などへの後方支援を行う重要影響事態か、集団的自衛権の行使を認める存立危機事態に該当するかどうかの判断が焦点となる。



日本・沖縄、尖閣諸島、中国、台湾